

# 石川県こころの健康センター所報

第 36 号

(平成25年度実績)

石川県こころの健康センター

— 2014 —

# 目 次

## こころの健康センター概要

1 沿 革 .....	1
2 施設の概況 .....	3
3 組織・機構 .....	4
4 業 務 .....	6

## 平成25年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務	
（1）精神障害者保健福祉手帳の交付 .....	8
（2）自立支援医療費（精神通院医療）支給認定 .....	9
（3）精神医療審査会 .....	11
2 相談課業務	
（1）技術指導及び技術援助 .....	13
（2）教育研修 .....	15
（3）普及啓発 .....	18
（4）精神保健福祉相談 .....	23
（5）特定相談指導事業 .....	33
（6）組織育成 .....	34
（7）青年期心の健康づくり推進事業（ひきこもり相談支援事業） .....	38
（8）ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業 .....	42
（9）自殺予防対策推進事業 .....	42
（10）子どもの心のケア推進事業 .....	49
（11）精神障害者地域生活支援事業 .....	53
（12）調査研究 .....	54
3 支援課（発達障害支援センター）業務	
（1）発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援 ...	57
（2）精神科医による相談事業 .....	60
（3）青年期グループ活動 .....	61
（4）就労者グループ活動 .....	61

( 5 ) 親のつどい .....	62
( 6 ) 関係機関等との調整会議 .....	62
( 7 ) 機関コンサルテーション .....	63
( 8 ) 個別支援のための調整会議 .....	64
( 9 ) 普及啓発及び研修 .....	65

## 資 料

1 精神保健福祉相談状況（電話・来所・訪問） .....	71
2 精神保健福祉相談状況（訪問指導） .....	72
3 普及啓発活動 .....	75
4 関係機関・団体との連携 .....	77
5 家族教室及びメンタルヘルス .....	79
6 集団指導 .....	81
7 こころの健康センター貸出しビデオテープ・DVD一覧 .....	82

# こころの健康センター概要

## 1 沿 革

- 昭和 41 年 10 月 石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
- 昭和 56 年 11 月 金沢市南新保町ル 3-1（現所在地）に新築移転する。
- 12 月 デイ・ケア事業（～平成 25 年度）、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
- 昭和 57 年 4 月 特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
- 昭和 58 年 4 月 親子通所センターが児童相談所より移管される。  
同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
- 昭和 61 年 4 月 心の健康づくり推進事業を開始する。
- 昭和 63 年 4 月 石川県精神保健センターと名称を変更する。  
痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度）  
メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
- 平成 元年 4 月 社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
- 平成 3 年 4 月 こころの相談ダイヤル事業を開始する。
- 平成 6 年 4 月 こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
- 平成 7 年 7 月 石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
- 平成 8 年 10 月 ピア・カウセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
- 平成 13 年 4 月 石川県こころの健康センターと名称を変更する。
- 平成 14 年 4 月 精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。
- 平成 14 年 10 月 住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
- 平成 17 年 4 月 発達障害支援センターが設置される。

- 平成 18 年 4 月 親子通所センターが閉所される。
- 平成 20 年 9 月 石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
- 平成 20 年 9 月 いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
- 平成 21 年 5 月 ひきこもり地域支援センターが設置される。
- 平成 21 年 9 月 こころの緊急支援事業（CRT）を開始する。
- 平成 23 年 3 月 「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。

## 2 施設の概況

### (1) 土地

所在地 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地 (〒920-8201) TEL 076(238)5761

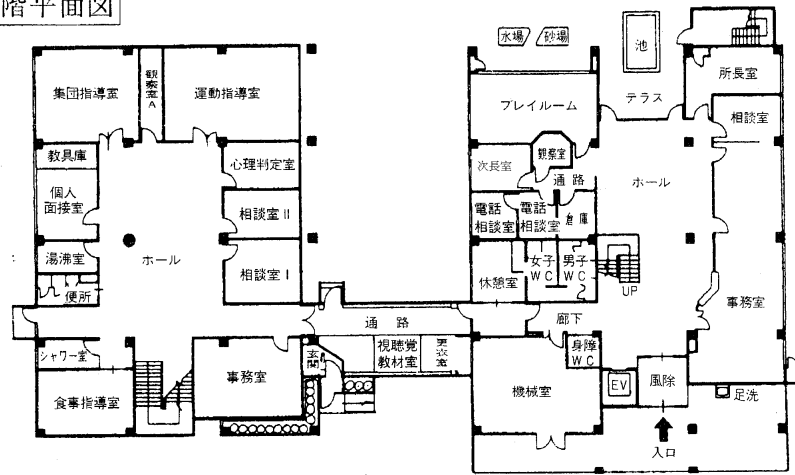
敷地 3,141 m<sup>2</sup>

### (2) 建物

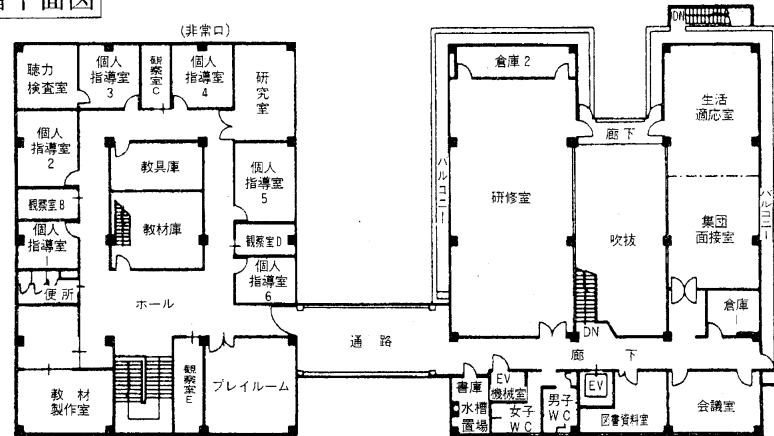
鉄筋コンクリート2階寄棟造 延1,761.26 m<sup>2</sup>

《館内平面図》

1階平面図



2階平面図

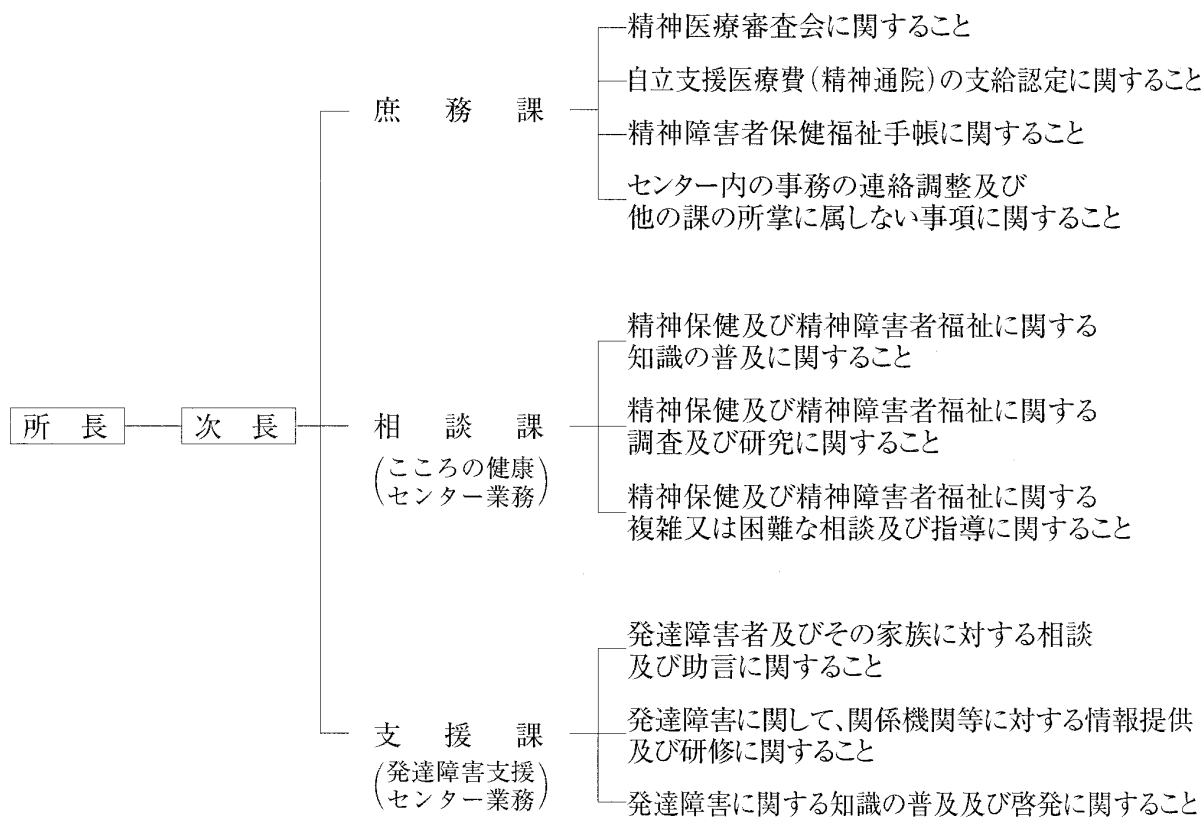


(発達障害支援センター)

(こころの健康センター)

### 3 組織・機構

#### (1) 機構



## (2) 職種別職員数

(平成26年10月1日現在)

職 種		医 師	保 健 師	看 護 師	精 神 保 健 福 祉 員	福 祉 指 導 員	保 育 士	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	事 務 職 員	事 務 補 助 員	計
職員	常 勤		3	4	1	3	1	5		3		20
	兼 務	1						1				2
嘱託	常 勤							1	1		1	3
	非 常 勤	3						1	5			9
臨時職員											1	1
計		4	3	4	1	3	1	8	6	3	2	35

## (3) 課別職員数

(平成26年10月1日現在)

課 名	職 種	職 員		嘱 託		臨時職員	計
		常 勤	兼 務	常 勤	非常勤		
所 長	医 師		1				1
次長兼庶務課長	事 務 職 員	1					1
次長兼相談課長	保 健 師	1					1
庶 務 課	看 護 師	3					7
	事 務 職 員	2					
	事 務 補 助 員			1		1	
相 談 課	医 師					2	17
	保 健 師	1					
	精 神 保 健 福 祉 員	1					
	福 祉 指 導 員	2					
	心 理 判 定 員	3	1		1		
	電 話 相 談 員			1	5		
支 援 課	医 師					1	8
	保 育 士	1					
	保 健 師	1					
	看 護 師	1					
	福 祉 指 導 員	1					
	心 理 判 定 員	2		1			
計		20	2	3	9	1	35



## 4 業 務

### 庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費(精神通院)の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

### 相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」(平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知)により、次の業務を行っている。

#### (1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をする。

#### (2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため保健所、市町及び関係諸機関等に対し、専門的立場から技術指導及び技術援助を実施する。

#### (3) 教育研修

保健所及び精神保健福祉に関係する諸機関の職員の技術的水準の向上を図るために、教育研修を実施する。

#### (4) 普及啓発

県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識と精神障害についての正しい知識等の啓発普及を行うため、パンフレットやパネルを作成したり、ビデオやDVDの貸し出しをする。また同様の趣旨で職場、学校、福祉関係機関、市町の公民館などで開催される講演会や研修会へ講師を派遣する。

#### (5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備をする。

#### (6) 精神保健福祉相談

幼児から老人まで、また自分自身のことから家族・同僚に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じる。

#### (7) 特定相談指導事業

アルコール関連問題や薬物関連問題、思春期精神保健に関する相談に応じ、関連問題の発生予防、精神的健康の保持増進への援助をする。

#### (8) 組織育成

地域精神保健関係団体の育成に努め、活動に協力する。

(9) 青年期心の健康づくり推進事業

主に 18 歳以上の若者のひきこもり問題に対して、関係機関とネットワークを作り支援していく。併せて、保護者等の家族教室、および本人のためのグループ活動を実施する。

(10) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設し、関係機関連絡会を開催して、問題改善のための連携強化を図る。

(11) 自殺対策推進事業

自殺者数は年々増加傾向にあり、平成 19 年度より、自死遺族交流会や依存症教室、自殺予防初期介入研修、睡眠キャンペーンなどを実施している。

(12) 子どもの心のケアネットワーク事業

子どもの心の問題について、地域で安心して相談できる体制づくりを目指しての相談対応や事例検討会、地域の保育所等への巡回、関係者育成セミナーなど平成 20 年度より実施している。

(13) 関係機関との連携

地域精神保健福祉活動の円滑な推進を図るために保健所等との精神保健福祉業務連絡会を開催する。

全国(69ヶ所)及び中部・近畿ブロックの精神保健福祉センター長会(20ヶ所)と中部ブロックの精神保健福祉センター連絡協議会(11ヶ所)に参加している。

### 支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害支援センター業務を担い「発達障害支援センター運営事業の実施について」(平成 17 年 7 月 8 日障発第 0708004 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知)により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修

(関係施設及び関係機関等との連携)

# 平成25年度こころの健康センターの活動概要

## 1 庶務課業務

### (1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

#### 制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

#### 対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

#### 障害等級

- 1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

#### 交付手続き

申請書に写真（上半身）とア又はイの書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

##### ア 医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

##### イ 年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

#### 審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（会議はメンバー持ち回りの4名出席で開催）で、平成25年度は22回開催した。

#### 手帳の有効期間

2年間 更新申請は有効期限の3か月前から可能

## 手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表 1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区 分		計	新 規		更 新				
			診断書	年金	診断書	年金			
平成 21年度	申請	2,363	1,184	1,179	493	283	691	896	
	交付	1級	348	225	123	92	29	133	94
		2級	1,722	813	909	331	215	482	694
		3級	241	117	124	54	32	63	92
		計	2,311	1,155	1,156	477	276	678	880
平成 22年度	申請	2,578	1,301	1,277	557	287	744	990	
	交付	1級	357	240	117	79	26	161	91
		2級	1,878	869	1,009	384	232	485	777
		3級	264	132	132	61	25	71	107
		計	2,499	1,241	1,258	524	283	717	975
平成 23年度	申請	2,849	1,461	1,388	612	350	849	1,038	
	交付	1級	330	208	122	65	25	143	97
		2級	2,124	1,026	1,098	425	282	601	816
		3級	330	179	151	91	37	88	114
		計	2,784	1,413	1,371	581	344	832	1,027
平成 24年度	申請	2,887	1,435	1,452	574	285	861	1,167	
	交付	1級	311	191	120	55	23	136	97
		2級	2,200	1,036	1,164	409	224	627	940
		3級	321	182	139	93	30	89	109
		計	2,832	1,409	1,423	557	277	852	1,146
平成 25年度	申請	3,260	1,697	1,563	651	362	1,046	1,201	
	交付	1級	283	168	115	48	24	120	91
		2級	2,515	1,300	1,215	509	275	791	940
		3級	415	224	191	91	51	133	140
		計	3,213	1,692	1,521	648	350	1,044	1,171

## (2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定

### 制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり) 残りを公費負担とする。

## 対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

## 申請手続き

申請書にア又はイの場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

### ア 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料  
高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

### イ 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料  
高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

## 支給認定

精神通院医療の要否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

## 支給認定の有効期間

1年間 更新申請は有効期限月を含め3か月前から可能

## 受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状況（単位：件）

年度	計	保険者別内訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
平成21	11,706	1,760	2,783	5,841	1,200	122
平成22	12,041	1,956	2,650	6,100	1,219	116
平成23	13,060	2,149	2,925	6,449	1,404	133
平成24	13,122	2,165	2,766	6,456	1,607	128
平成25	14,060	2,390	3,026	6,770	1,716	158

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成16	498	1,812	419	2,729	8,397
平成17	556	2,121	481	3,158	8,835
平成18	607	2,355	501	3,463	9,582
平成19	631	2,591	475	3,697	9,547
平成20	662	2,880	481	4,023	9,890
平成21	683	3,239	484	4,406	10,731
平成22	697	3,541	502	4,740	11,685
平成23	687	3,973	572	5,232	12,275
平成24	622	4,256	620	5,498	12,885
平成25	578	4,683	721	5,982	13,532

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（平成26年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手帳	1級	38	34	25	2	41	19	267	18	10	4
	2級	228	310	154	12	482	176	2,234	139	100	106
	3級	65	74	27	6	85	34	260	21	14	8
	計	331	418	206	20	608	229	2,761	178	124	118
通 院		798	1,136	492	50	1,080	495	5,795	404	335	272
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手帳	1級	10	7	10	47	9	14	2	13	8	578
	2級	72	65	36	280	58	90	34	63	44	4,683
	3級	17	15	9	31	13	13	2	14	13	721
	計	99	87	55	358	80	117	38	90	65	5,982
通 院		266	220	151	884	269	344	134	228	179	13,532

(3) 精神医療審査会  
設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第12条

## 審査会の業務

次の報告や請求に係る精神障害者の入院継続の要否又は処遇の適否について審査する。

ア 病院からの措置入院者の定期病状報告、医療保護入院者の定期病状報告、医療保護入院者の入院届

イ 入院中の者又はその保護者からの退院請求又は処遇改善の請求

## 委員構成

10人（医療委員6人、法律家委員2人、有識者委員2人）予備委員を含む

## 合議体

審査会には5人で構成する合議体を2つ置き、審査は月1回交互に行う。

## 平成25年度の開催実績

審査会12回、全体会議1回

表5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の 定期病状報告		医療保護入院者 の定期病状報告		医療保護入院者 の入院届		審査件数 合 計	
	審査 件数	面接 件数	入院形 態の変 更等	審査 件数	入院形 態の変 更等	審査 件数	入院形 態の変 更等	審査 件数	入院形 態の変 更等	審査 件数	入院形 態の変 更等
平成16	22	22	-	12	-	1,122	-	1,673	-	2,829	-
平成17	24	23	-	13	-	1,201	-	1,716	-	2,954	-
平成18	22	22	-	19	-	1,151	-	1,968	-	3,160	-
平成19	22	22	-	21	-	1,151	-	2,143	-	3,337	-
平成20	24	23	-	17	-	1,184	-	2,214	-	3,439	-
平成21	30	26	-	23	-	1,253	-	2,310	-	3,616	-
平成22	27	23	-	23	-	1,234	-	2,348	-	3,632	-
平成23	50	33	-	31	-	1,316	-	2,343	-	3,740	-
平成24	37	33	-	31	-	1,314	-	2,487	-	3,869	-
平成25	34	25	-	30	-	1,287	-	2,577	-	3,928	-

注：入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が表示された件数

## 2 相談課業務

### (1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係諸機関に対し職員等を派遣し、専門的な立場から技術援助を行っている。

平成 25 年度の技術援助回数は 475 回で、そのうち保健所（保健福祉センター、地域センター、金沢市保健所及び福祉健康センターを含む。以下「保健所」と記す。）へは 86 回（18.1%）、行政・教育・福祉等の関係機関へは 389 回（81.8%）であった。

#### ア 保健所（保健福祉センター）

平成 25 年度において保健所からの要請に応じ、各種教室等での知識普及保健活動や情報提供が多く、次いで関係機関との連絡調整等で合計 86 回であった(表 1)。

表 1 保健所への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	相 談 指 導 訪 問	保 健 知 識 活 動 普 及	協 力 組 織 の 育 成	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 等 援 助	・ 情 報 提 供 其 他
南加賀保健福祉センター	18		9		4		5
石川中央保健福祉センター	21	1	4		6	1	9
能登中部保健福祉センター	18		7	4	1	1	5
能登北部保健福祉センター	16		10		1	1	4
金沢市駅西福祉健康センター	5		1				4
金沢市泉野福祉健康センター	7		1		1	1	4
金沢市元町福祉健康センター	1						1
合 計	86	1	32	4	13	4	32



## イ 関係機関（保健所を除く）

県内の関係機関の要請に応じて、関係機関との連絡調整や知識の普及・保健活動、事例検討会、情報提供等の指導援助を行っているが、平成 25 年度の保健所以外の行政や教育、医療機関への技術援助は 389 回であった。

区分別では国・県への技術援助が 100 回と一番多く、次いで、市町 71 回、医療 54 回の順になっている（表 2）。

表 2 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 の 普 及 ・ 保 健 活 動	協 力 組 織 の 育 成	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 援 助	情 報 提 供 ・ そ の 他
国 ・ 県	100			11	2	19		68
市 町	71	6	5	10	5	19		26
医 療	54	6		9	6	9	1	23
福 祉	17	2		4		4		7
教 育	44	17	1	5	1	6		14
労 働	13			2		5		6
各種精神保健団体	15			2		1	1	11
学生教育・実習	6			2				4
障害者支援施設等	30			6	3	5		16
司 法	10	1		1		1		7
そ の 他	29			5		4	1	19
合 計	389	32	6	57	17	73	3	201

## (2) 教育研修

平成 25 年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を 6 回開催した。

### ア 精神保健福祉担当者初任者研修会

地域における精神保健福祉業務が円滑に推進されるように、関係機関の職員を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に実施した。

	5月20日(月)	5月27日(月)
10:00 10:10~ 12:00 (11:00) (12:00)	挨拶 オリエンテーション 講義 1 「精神障害者に関する基礎知識」 ～理解と援助～ 講師 ころの健康センター 所長 角田 雅彦	講義 5 「障害者の社会資源の活用について」 講師 ころの健康センター 相談課担当課長 深谷 敏
		講義 6 「精神保健福祉の動向」 講師 ころの健康センター 相談課担当課長 深谷 敏
13:00~ 14:00	講義 2 「石川県における精神保健福祉行政について」 講師 県障害保健福祉課 医療支援グループ 課長補佐 湯谷 幹恵	講義 7 「インテーク面接」 ～来所相談の留意点～ 講師 ころの健康センター 相談課主幹 川本 晶広
14:00~ 15:00	講義 3 「権利擁護に関する基礎知識」 講師 県障害保健福祉課 医療支援グループ 専門員 岩尾 貴	講義 8 「ひきこもり、発達障害等の理解と支援」 講師 ころの健康センター 相談課主幹 川本 晶広 支援課長 梅本 浩靖
15:10~ 16:10 16:30	講義 4 「精神保健福祉法」 ～入院形態・自立支援医療・精神保健福祉手帳～ 講師 ころの健康センター 相談課相談専門員 道下 妙子 庶務課主任技師 西野 邦枝 庶務課主事 沢井 章悟	グループワーク 「日頃の相談支援活動から思うこと」

## イ アルコール関連問題研修会

アルコール関連問題に関する研修は、従来精神保健研修会の中に位置づけられ、昭和 57 年度より 3 年間及び昭和 61 年度、平成 2 年度に開催してきたが、平成 4 年度よりアルコール関連問題研修会として毎年行っている。

日 時	平成 26 年 3 月 12 日（水）13 時 30 分～16 時 30 分
場 所	石川県立中央病院健康教育館 2 階 大研修室
内 容	講演「アルコール・薬物依存症の認知行動療法」 講師 筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授 森田 展彰 当事者（回復者）の方による体験談
参加者	保健、福祉、司法、医療関係従事者、当事者 80 人

## ウ 薬物関連問題相談担当者研修会

平成 12 年度より薬物関連問題相談指導事業が開始され、平成 18 年度より相談担当者研修会を行っている。平成 25 年度は、本研修会を上記アルコール関連問題研修会に含め、これに代わる研修として下記のアディクション問題研修会を開催した。

日 時	平成 25 年 12 月 6 日（金）13 時 30 分～16 時 30 分
場 所	石川県医師会館 研修室
内 容	講演 「ネット依存症～気づきから回復に至るまで～」 講師 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 医師 中山 秀紀
参加者	保健、福祉、司法、医療、教育関係の相談従事者、当事者 201 人

## エ 思春期精神保健関係機関研修会

思春期・青年期の不登校・ひきこもりをはじめとする心の問題に対処するために、教育・医療・保健・相談機関の職員等を対象として、子どもたちの現状や問題点、取り巻く環境などについて理解を深め、より良い援助について考えることを目的に研修を行っている。

日 時	平成 25 年 11 月 23 日（土） 10 時～16 時
場 所	石川県こころの健康センター 2 階研修室
内 容	事例検討「不登校、ひきこもりの子どもへの対応」 講演会、ディスカッション 「子どもの不登校、ひきこもり ～その理解と対応～」 講師：母子愛育会総合母子保健センター愛育病院 小児精神保健科部長 齊籐 万比古（精神科医）
参加者	子どもの心の問題に携わる医療、教育、保健、福祉等の関係者 AM 事例検討 68 人、PM 講演 88 人 延べ 90 人

## オ 学生実習

### 講 義

学 校 名	実施日数	受講者数
保育専門学園専攻科インターンシップ	3日	6人
金沢大学医薬保健学域保健学類	1日	82人
金沢工業大学大学院（臨床心理学専攻）	1日	4人

### (3) 普及啓発

一般県民や関係者に対して、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発事業を実施した。

#### ア 主催または共催した講演会

期 日	講 演 会 名	内 容	参加者
25.12.6 (金)	平成25年度アディク ション問題研修会	講演「ネット依存症 ～気づきから回復に至るまで～」 講師 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 精神科医 中山 秀紀	201人
26.3.12 (水)	アルコール関連問題 講演会	講演「アルコール・薬物依存症の認知行動療法」 講師 筑波大学大学院人間総合科学研究科 准教授 精神科医 森田 展彰 当事者（回復者）の方による体験談	80人

#### イ 講師を派遣した講演会

	依 頼 先	内 容	回数	参加人数
国	气象台	心の健康づくり	1	20人
県	人事課	新任課長研修	2	70人
	消防学校	メンタルヘルス（服務と勤務）	1	68人
市 町	市町村職員研修所	新任課長補佐研修	2	130人
	市町村職員研修所	新任課長研修	1	65人
	七尾市健康推進課	窓口職員のゲートキーパーの役割	1	30人

	依 頼 先	内 容	回数	参加人数
保 健 所	金沢市泉野福祉健康センター	ゲートキーパーってどうすればいい？	1	30人
	南加賀保健福祉センター	うつ病家族教室	1	30人
	南加賀保健福祉センター	ひきこもり家族教室	1	24人
	南加賀保健福祉センター	自殺未遂者支援研修	1	23人
	能登中部保健福祉センター	ひきこもり家族教室(ひきこもりの理解と対応)	1	8人
	能登中部保健福祉センター	救急告示・精神科医療機関研修	1	10人
	能登中部保健福祉センター	七尾鹿島消防本部研修	2	108人
	能登北部保健福祉センター	ひきこもり家族教室	4	22人
	能登北部保健福祉センター	ゲートキーパー研修	1	30人
	能登北部保健福祉センター	自殺未遂者の対応の重要性について	1	4人
	能登北部保健福祉センター	自殺未遂者支援について	1	5人
	能登北部保健福祉センター	平成 25 年度自殺未遂者支援体制整備のための研修会	1	5人
	医 療 施 設	県立高松病院	職場におけるメンタルヘルス	1
県立中央病院		自殺未遂者への対応	1	20人
日精協看護技術協会		支部研修メンタルヘルス「自殺予防・自殺対策」	1	50人
社 会 福 祉 施 設	安宅・板津高齢者総合相談センター	講演	1	30人
	社会福祉協議会	民生委員・児童委員協議会会長研修会	1	150人
	社会福祉協議会民生児童委員連合会会長	ひきこもり支援にかかる講演会	1	154人

教育	県高等学校保健会	精神疾患基礎知識の講義と事例検討	1	60人
	小松市教育センター	ひきこもりに関する講義「高校生以上のひきこもりの現状理解」	1	12人
	職業能力開発総合大学校	精神疾患や発達障害と見られる訓練生の対応	1	15人
	石川工業高等専門学校	学生の自殺予防	1	50人
労働	若者サポートステーション	サポステ相談家族に対するひきこもりに関する講座	1	36人
障害者支援施設	オープンセサミ城南	石川県行動援護従事者養成研修	3	215人
その他	薬剤師会	ゲートキーパー研修	1	30人
	理容組合金沢支部	ゲートキーパー研修	1	50人
計			40	1560人

## ウ マスコミ活用

期 日	内 容	報 道 機 関
H25.4.3	相談課電話番号の周知	TV局1社
H25.4.23, 5.1	自死遺族交流会の案内の掲載	内灘町広報、能美市広報
H25.5.21	依存症教室について	新聞者2社
H25.6.5	ひきこもり相談について	TV局1社
H25.10.11, 10.17	精神保健福祉普及運動の広告掲載	新聞社2社
H26.3.8, 3.12	講演会開催案内	広報いしかわ、TV局1社

## エ 普及啓発資料の作成

県下の精神保健の動向やこころの健康センターの事業の紹介を目的として発行した。

	内 容	発行部数
センター だより	第80号 特集「うつ」 第81号 特集「依存症」	各 600部
講演録	平成25年度アディクション問題研修会「インターネット依存とその対策」	450部
パンフ レット	石川県こころの健康センター・発達障害支援センター案内 お酒を知ろう 薬物依存に関する相談のご案内 かけがえのない命をまもるために 相談機関一覧	5,000部 1,000部 1,000部 3,000部
冊子	こころに関する医療機関の診療情報ガイド 子どもの心の診療・相談機関情報ガイド	350部 450部

## オ 普及啓発資料の貸し出し

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っている。平成25年度は25件で、事業所の家族会からの依頼が最多であった。

## カ ホームページの更新

アドレス <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html>

## キ 自殺予防週間キャンペーン

期 日	内 容	場 所
9月10日 ～16日	自殺予防週間キャンペーン ・自殺予防パネル、ポスター、パンフレット、 のぼり旗の設置 ・ティッシュ等の配布	J R金沢駅構内

## ク 自殺予防に関する普及啓発

	内 容	発行部数
チラシ	ハローワークにおける総合相談会 自殺予防週間事業講演会・シンポジウム・合同相談会 自殺対策強化月間事業講演会・座談会・合同相談会	2,100部 20,000部 4,000部
ポスター	ほっとハート店ゲートキーパーポスター	900部



パンフレット	かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ案内	2,000 部
冊子	自殺未遂者への支援の方法 職場における自殺の予防と対応（厚労省 HP より）	1,300 部 200 部
DVD	石川県ゲートキーパーDVD 「かけがえのない命をまもるために ～あなたもゲートキーパー～」	500 枚
啓発グッズ	オリジナル付箋紙 ほっとハート店配付用「こころのキズバン」 石川県ゲートキーパー手帳「かけがえのない命をまもるために」 ゲートキーパー缶バッチ	1,400 部 18,000 部 5,000 部 5,000 個

## ケ 障害者ふれあいフェスティバル

障害者の自立と社会参加の意欲を高め、並びに県民の障害者に対する理解と認識をより一層高めることを目的に開催される事業で、平成 25 年度が第 18 回となる。

当初、知的障害と身体障害の 2 障害合同形式で開催されていたものだが、平成 11 年度より精神障害関係団体が正式に加わり、3 障害合同で開催されている。

日 時 平成 25 年 10 月 27 日（日）10:00 ～ 16:00  
場 所 石川県産業展示館 4 号館  
参加者 約 14,000 人  
内 容 福祉相談コーナー

#### (4) 精神保健福祉相談

平成 25 年度の相談（電話相談と来所相談を合わせたもの）の概要は表 1、表 2 の通りである。相談延件数は、電話相談 5,616 件、来所相談 2,044 件であり、前年度の電話相談 5,626 件、来所相談 1,291 件に比べ、電話相談件数は横ばいで、来所相談は約 1.5 倍増加した。

来所相談のうち今年度初めての新来相談件数は 346 件であり、前年度等からの繰り越しまたは再来者は 103 件であった（表 1）。

相談区分では、その他を除くと、電話相談では、心の健康づくりが 1,092 件で最も多く次いでうつ・うつ状態が 656 件となっている。来所相談は、思春期 830 件と最も多く、次いで心の健康づくりが 486、そしてうつ・うつ状態が 232 件の順になっている。再掲でひきこもりは 866 件で前年度の 276 件と比べ約 3 倍増加している。（表 2）。

表 1 電話相談・来所相談件数

		男	女	合計
電 話 相 談		2,889	2,727	5,616
来 所 相 談		1,323	721	2,044
新規	新 来 相 談	193	153	346
	繰り越し・再来	67	36	103
	小 計	260	189	449
継 続		1,063	532	1,595
合 計		4,212	3,448	7,660

件数は延件数

電話相談は無言116件を除く

#### (参考) 相談件数の推移

年度	電話相談	来所相談	計	家庭訪問
H21	5,097	1,181 (209)	6,278	
H22	7,088	1,452 (263)	8,540	
H23	5,479	1,432 (238)	6,911	
H24	5,626	1,291 (236)	6,917	10
H25	5,616	2,044 (346)	7,660	74

注：（ ）は内数で新来相談件数

表2 相談区分別相談件数

		平成25年度		平成24年度		
		電話相談	来所相談(新来)		来所相談(新来)	
老人精神保健		41	7	(5)	4	(4)
社会復帰		254	147	(15)	279	(19)
アルコール		44	11	(9)	18	(2)
薬物		24	25	(7)	3	(2)
ギャンブル		25	19	(5)	-	-
思春期		451	830	(116)	269	(63)
心の健康づくり		1092	486	(47)	335	(54)
うつ・うつ状態		656	232	(67)	89	(20)
その他		3029	287	(75)	294	(72)
計		5,616	2,044	(346)	1,291	(236)
再掲	ひきこもり	355	866	(62)	276	(47)
	発達障害	78	368	(45)	86	(10)
	自殺	116	121	(30)	16	(9)
	(再)自殺者の遺族	1	0	(0)	0	(0)
	犯罪被害	7	0	(0)	2	(2)
	災害	2	0	(0)	-	-

件数は延件数( )は新来で内数  
電話相談は無言116件を除く

注：思春期 = 原則として13歳～24歳の精神発達の途上にある者およびその家族からの心の悩み等の思春期精神保健に関する相談を指す。

## ア 電話相談

電話相談は、当センターの電話番号による職員が受ける相談のほか、専用電話相談の「こころの相談ダイヤル」で受ける相談を合わせたものである。

平成25年度の相談件数(延件数)は5,616件であり、性別で見ると、男性2,889件、女性2,727件と、男性の方が162件多い(表1)。

年齢区分別では、「40～49歳」が1,456件(25.9%)と最も多く、次いで「50～64歳」が1,323件(23.6%)を占めている(表3、図1)。

相談内容別では「日常生活に関する心配・不安」が 848 件（15.1%）と最も多く、次いで「精神障害者の生活上の問題」が 534 件（9.5%）、次いで「家庭内の問題」518 件、「病気治療上の問題」515 件（9.2%）の順となっている（表 4、図 2）。

処遇としては、「傾聴・助言」が 4,645 件（82.7%）と最も多く、次いで「こころの健康センター（来所相談）へ紹介」が 439 件（7.8%）、「他機関紹介」が 337 件（6.0%）となっている（表 7）。

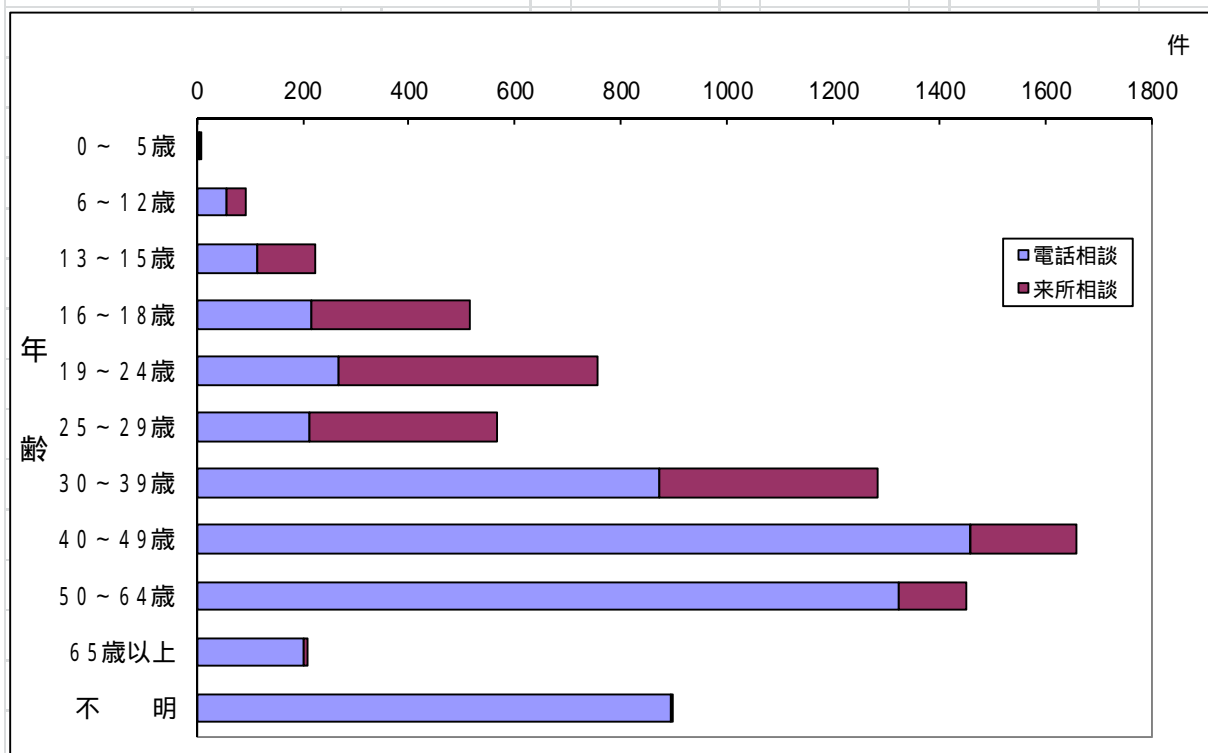
## イ 来所相談

来所相談は原則として予約制をとっているが、本人または家族・関係者が直接窓口に来所した場合も対応している。

表3 電話相談・来所相談の年齢別状況

年齢区分	相談区分				合計	
	電話相談		来所相談		件数	%
	件数	%	件数	%		
0～5歳	5件	0.1%	5件	0.2%	10件	0.1%
6～12歳	57	1.0	37	1.8	94	1.2
13～15歳	114	2.0	109	5.3	223	2.9
16～18歳	217	3.9	299	14.6	516	6.7
19～24歳	266	4.7	490	24.0	756	9.9
25～29歳	214	3.8	351	17.2	565	7.4
30～39歳	871	15.5	412	20.2	1,283	16.7
40～49歳	1,456	25.9	202	9.9	1,658	21.6
50～64歳	1,323	23.6	129	6.3	1,452	18.9
65歳以上	200	3.6	9	0.4	209	2.7
不明	893	15.9	1	0.0	894	11.7
合計	5,616	100.0	2,044	100.0	7,660	100.0
						件数は延件数
						電話相談は無言116件を除く

図1 電話相談・来所相談の年齢別状況



来所相談は、通常の業務の中で相談課職員が対応している。必要に応じ所長または囑託医（精神科医・小児科医）の診察を実施している。

平成25年度の相談件数(延件数)は2,044件と平成24年の1,291件より1.5倍増加した。

年齢区分別では、19～24歳が490件(24.0%)と最も多く、次いで30～39歳が412件(20.2%)となっている。20代までの相談が1,291件(63.1%)を占めており、65歳以上の相談は9件(0.4%)と非常に少ない。(表1・3、図1)。

相談内容別では、「ひきこもり」が558件(27.3%)と最も多く、次いで「不登校・学校不適応」330件(16.1%)、「性格・行動上の悩み」が202件(9.9%)と続いている(表4、図2)。

新来相談の来所経路は、男女ともホームページや口コミにより「直接」来所してくる場合が182件と一番多い。次いで「施設・学校」40件、「ハローワーク」17件、の順になっている(表5)。

診断別件数では、医師の診察を必要としなかったり、診断保留の状態で継続的な関わりを続けている相談が1,148件(56.2%)と最も多い。診断された方では、気分障害が348件(17.0%)、神経症175件(8.6%)となっている(表6)。

処遇としては、「継続面接」が1,452件と最も多く、次いで「助言」の362件となっている。相談後、他機関に紹介した延べ件数は282件で、主な紹介先として「医療機関(主に精神科)」が延べ164件と最も多い(表8)。

表4 電話相談・来所相談の相談内容別状況

相 談 内 容	相 談 区 分				合 計	
	電 話 相 談		来 所 相 談		件数	%
	件数	%	件数 (実)	%		
発 達 上 の 問 題	73 件	1.3 %	64 件 (13)	3.1 %	137 件	1.8 %
不 登 校 ・ 学 校 不 適 応	183	3.3	330 (62)	16.1	513	6.7
ひ き こ も り	188	3.3	558 (60)	27.3	746	9.7
非 行 ・ 反 社 会 的 問 題	25	0.4	5 (2)	0.2	30	0.4
暴 力	142	2.5	120 (39)	5.9	262	3.4
家 庭 内 の 問 題	518	9.2	140 (32)	6.8	658	8.6
出 産 ・ 育 児 上 の 悩 み	56	1.0	6 (3)	0.3	62	0.8
更 年 期 の 悩 み	11	0.2	1 (1)	0.0	12	0.2
高 齢 者 の 問 題	35	0.6	7 (5)	0.3	42	0.5
仕 事 ・ 職 場 の 悩 み	267	4.8	194 (56)	9.5	461	6.0
身 体 上 の 悩 み	65	1.2	5 (5)	0.2	70	0.9
摂 食 障 害	14	0.2	22 (4)	1.1	36	0.5
性 格 ・ 行 動 上 の 悩 み	403	7.2	202 (48)	9.9	605	7.9
対 人 関 係 上 の 悩 み	296	5.3	31 (12)	1.5	327	4.3
ア ル コ ー ル 問 題	41	0.7	10 (9)	0.5	51	0.7
薬 物 問 題	30	0.5	21 (6)	1.0	51	0.7
ア ル コ ー ル ・ 薬 物 以 外 の 依 存	42	0.7	20 (7)	1.0	62	0.8
性 に つ い て の 悩 み	63	1.1	13 (3)	0.6	76	1.0
日 常 生 活 に 関 す る 心 配 ・ 不 安	848	15.1			848	11.1
神 経 症	17	0.3	54 (7)	2.6	71	0.9
精 神 障 害 へ の 不 安	143	2.5	5 (4)	0.2	148	1.9
病 気 の 治 療 上 の 問 題	515	9.2	48 (20)	2.3	563	7.3
社 会 復 帰 ・ デ ィ ケ ア の 問 題	255	4.5	23 (5)	1.1	278	3.6
精 神 障 害 者 へ の 対 応	160	2.8	2 (2)	0.1	162	2.1
精 神 障 害 者 の 生 活 上 の 問 題	534	9.5	152 (37)	7.4	686	9.0
情 報 提 供	102	1.8	4 (3)	0.2	106	1.4
そ の 他	590	10.5	7 (4)	0.3	597	7.8
合 計	5,616	100.0	2,044 (449)	100.0	7,660	100.0

件数は延件数(実件数)

図 2

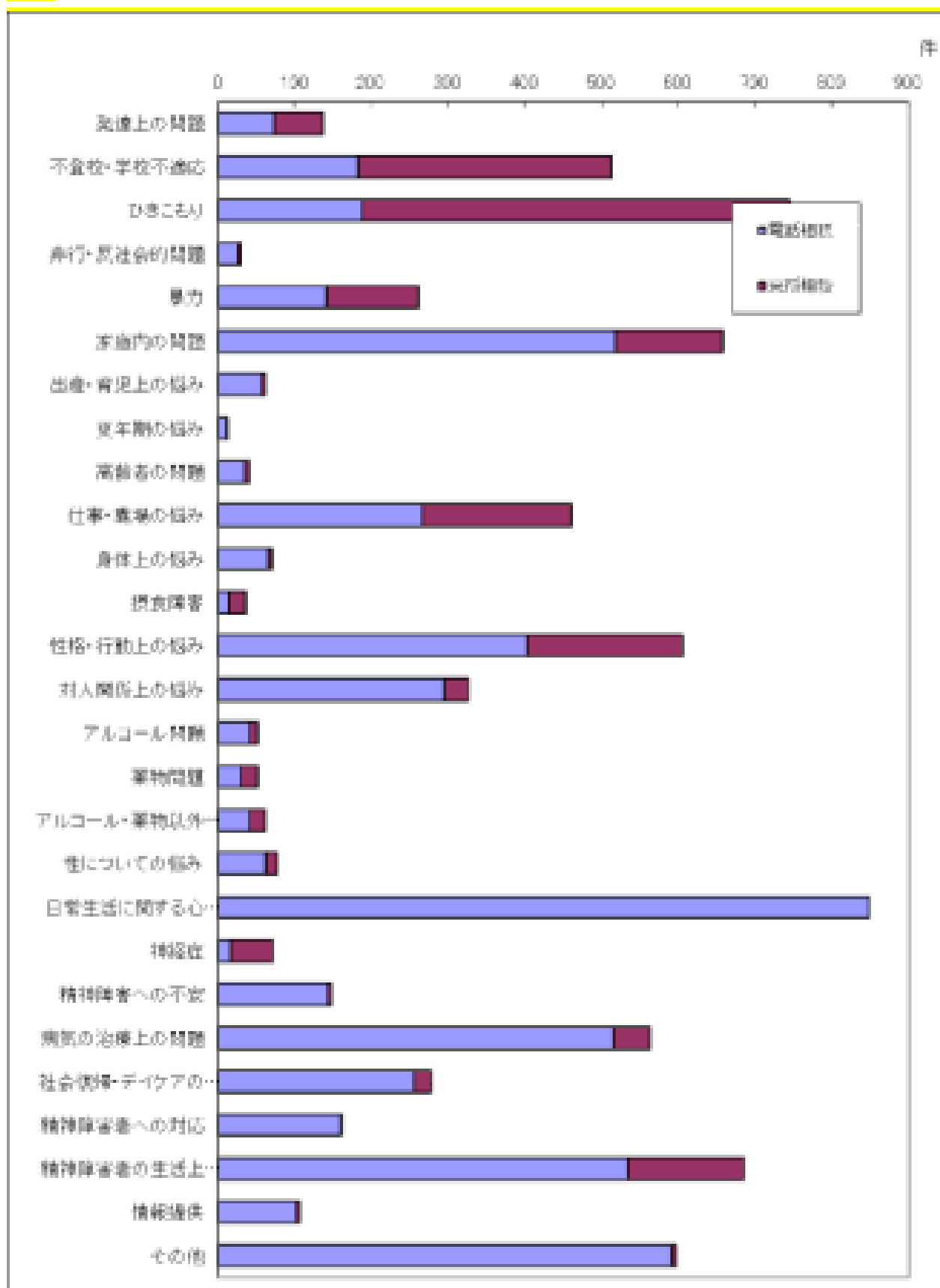


表5 新来相談の経路別状況

経路	性別		合計
	男	女	
直接	105 件	77 件	182 件
医療機関（精神科）	14	15	29
医療機関（一般科）	7	5	12
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター （保健所）	4	5	9
児童相談所	2	1	3
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター （福祉事務所）	0	0	0
児童・民生委員	0	0	0
施設・学校	23	17	40
ハローワーク （職業安定所・ジョブカフェ石川）	13	4	17
警察	1	1	2
県庁・市町役場	8	7	15
その他の相談機関	5	4	9
こころの相談ダイヤル	3	9	12
その他の電話相談	2	5	7
センター事務所電話相談	0	0	0
その他	6	3	9
合計	193	153	346

件数は延件数



表6 来所相談の診断別状況

診断名	来所者区分		継 続	合 計	
	新 来 相 談	繰り越し・再来		件数	%
症状性を含む器質性精神障害	1 件	1 件	0 件	2 件	0.1 %
精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	6	2	3	11	0.5
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	13	18	96	127	6.2
気分(感情)障害	65	15	268	348	17.0
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	19	8	148	175	8.6
生理的障害及び身体的要因に関連した 行動症候群	6	1	13	20	1.0
成人の人格及び行動の障害	6	0	13	19	0.9
知的障害 精神遅滞	4	2	55	61	3.0
心理的発達の障害	13	3	59	75	3.7
小児期及び青年期に通常発症する 行動及び情緒の障害	1	1	8	10	0.5
神経疾患等	4	0	6	10	0.5
診断保留	196	50	902	1148	56.2
不明	12	2	24	38	1.9
	346	103	1,595	2,044	100.0

件数は延件数

表7 処遇別相談件数(電話相談)

区 分	傾聴・助言	センター (来所相談) へ紹介	他機関紹介	その他	再連絡	合 計
件 数	4,645	439	337	124	71	5,616
%	82.7%	7.8%	6.0%	2.2%	1.3%	100%

件数は延件数

無言166件を除く

表8 処遇別相談件数(来所相談)

処遇状況		来所者区分			
		新 来 相 談	繰り越し・再来	継 続	合 計
助 言		205 <sup>件</sup>	33 <sup>件</sup>	124 <sup>件</sup>	362 <sup>件</sup>
診 察		34	1	102	137
継 続 面 接 ( 又 は 治 療 )		93	68	1291	1452
訪 問 指 導		8	1	65	74
そ の 他		6	0	13	19
合 計		346	103	1595	2,044
( 再 掲 ) 診 断 書 発 行		8	1	59	68
(再掲)紹介	医 療 機 関	47	5	112	164
	保 健 所	2	0	0	2
	福 祉 関 係	11	3	30	44
	教 育 機 関	3	0	2	5
	そ の 他	34	1	32	67
	計	97	9	176	282

件数は延件数

表9 支援内容(電話相談)

支援内容	件数	%
受診援助及び他機関紹介	535 <sup>件</sup>	8.4 <sup>%</sup>
経済問題の調整	104	1.6
療養上の問題解決と調整	1028	16.0
住居問題調整	28	0.4
教育問題調整	162	2.5
家族問題調整	730	11.4
日常生活支援	2232	34.8
就労問題調整	343	5.4
訪問支援	2	0.0
人権擁護	34	0.5
その他	1208	18.9
合計	6406	100.0

件数は延件数

(5) 特定相談指導事業

ア アルコール関連問題相談・薬物関連問題相談事業

(ア) 相談状況

表1 相談状況

区 分	来 所 相 談			電 話 相 談
	計	男	女	計
アルコール問題	10 (9)	5 (5)	5 (4)	41
薬 物 問 題	21 (6)	8 (4)	13 (2)	30
アルコール ・薬物以外	20 (7)	19 (5)	1 (1)	42
計	51 (22)	32 (14)	19 (7)	113

件数は延人数（実人数）

(イ) アルコール関連問題研修会・薬物関連問題相談担当者研修会

\* 研修内容については P16 参照

イ 思春期相談指導事業

(ア) 相談状況

表2 思春期相談件数（相談対象者が13歳～24歳の相談を指す）

区 分	男	女	合 計
電 話 相 談	201 件	250 件	451 件
来 所 相 談	492	338	830
合 計	693	588	1281

件数は延件数

(イ) 思春期精神保健関係機関研修会

\* 研修内容については P16 参照

## (6) 組織育成

平成 25 年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、依存症自助グループ(石川県断酒連合会、A A、アラノン、家族の回復ステップ 1 2、G A 等)、精神障害者家族会(石川県精神障害者家族会連合会)、石川県精神保健福祉協会、石川県精神障害者支援事業所連絡協議会、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会の各団体である。

それぞれに対するかかわりの回数、参加人数は表 1 のとおりである。

表 1 協力組織へのかかわり

対 象	回 数	参加人数
石 川 県 断 酒 連 合 会	6	20
A A グ ル ー プ 等	10	143
小 計	16	163
石 川 県 精 神 障 害 者 家 族 会 連 合 会	64	418
石 川 県 精 神 保 健 福 祉 協 会	35	1,194
石 川 県 精 神 障 害 者 支 援 事 業 所 連 絡 協 議 会	18	120
石 川 県 メ ン タ ル ヘ ル ス ボ ラ ン テ ィ ア 連 絡 協 議 会	9	95
小 計	126	1,827
合 計	142	1,990

### ア 依存症自助グループ

#### (ア) 石川県断酒連合会

石川県断酒連合会は、昭和 44 年「北陸断酒新生会」として結成され、昭和 58 年「石川県断酒連合会」に名称が変更された。昭和 56 年以降、当センターは例会の会場を月 1 回提供し、職員が参加していたが、その後は、独自で例会を開催してきた。

平成 23 年度末で「石川県断酒連合会」は解散されたが、金沢市、七尾、小松の各地域の断酒会は活動を継続している。当センターとしては日頃の情報交換を通して活動支援を行なっている。

#### (イ) A A 等

石川県では昭和 63 年に A A 金沢グループが誕生し、現在は 7 グループが 19 ヶ所で活動している。職員が日頃の情報交換や、オープンスピーカーズミーティング、オープンステップミーティングに参加することで、活動支援を行なっている。

## イ 精神障害者家族会

### (ア) 石川県精神障害者家族会連合会（石家連）

精神障害者家族会は昭和48年6月頃より石川県内の保健所単位に地域家族会として結成され、10家族会（会員数約400人）をもって昭和49年2月に連合会として発足した。

その後、地域家族会の統合を経て平成25年度現在では13地域家族会と2病院家族会、1施設家族会で連合会を組織し、会員は236名である。

表2 石家連へのかかわり

内 容	回 数	参加人数
総会と講演会	2	59
精神障害者家族会と病院長等との懇談会 精神保健福祉協会との共催	1	87
行政との懇談会	1	32
常務理事会、理事会等	13	103

### (イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は必要に応じて助言支援を行っている。

## ウ 石川県精神障害者支援事業所連絡協議会

平成5年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、石家連の中に作業所部会を設けて、作業所運営の検討、アンケート調査の実施、パンフレットの作成等の活動を行ってきた。

平成7年度作業所数が大幅に増加し、従事する指導員数も多くなってきたことから、平成8年5月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡協議会が発足し、石家連から分離して月1回の例会や、役員会、勉強会等の活動を行っている。

平成25年度、県内の精神障害者支援事業所（18ヶ所）が参加している。また、作品展を県庁展望ロビーにおいて開催、石川県障害者ふれあいフェスティバルでは、各事業所の製品販売を行った。当事者への支援力向上を図るため、研修を行っている。

## エ 石川県精神保健福祉協会

昭和 35 年 10 月に石川県精神衛生協会が結成され、平成 3 年 6 月、名称を石川県精神保健協会、平成 10 年 6 月に石川県精神保健福祉協会と改めている。平成 25 年度会員は、個人会員 248 名、団体会員 26 団体、特別会員 12 病院となっている。

表 3 精神保健福祉協会へのかかわり

期 日	内 容	対 象	人 数
25. 5. 25	表彰審査委員会	委員	6 人
25. 4. 1 ~ 26. 3. 19 まで	こころの健康づくり講師派遣事業	地域、学校、職域等の団体	12 回 535 人
25. 4. 1 ~ 26. 3. 31 まで	〃 の受付等	〃	10 回 10 人
25. 5. 18	理 事 会	理事、監事等	13 人
25. 3. 12	〃	〃	16 人
25. 6. 15	総 会	会員、関係者等	80 人
〃	精神保健講演会 「新しい学校予防教育 - 子どもを守り育てる総合教育」 鳴門教育大学予防教育科学センター 教授 山崎 勝之	会員、一般	90 人
25. 11. 21	精神障害者家族会と病院長等との懇談会 「最近の精神科医療から」 高松病院副院長 栃本 真一	関係機関職員、一般	87 人
26. 3. 12	地域精神保専門委員会講演会 「アルコール関連問題講演会」	病院長等、家族会、行政、保健所	80 人
25. 12. 6	精神保健福祉研修会 「ネット依存症 ~ 気づきから回復に至るまで ~」	関係機関職員、教育関係者、一般	201 人
26. 2. 15	精神保健福祉研究会 「『気になる子』のためにできること~ 家庭・学校・医療の課題と連携を考える ~」	会員、一般	33 人
26. 2. 28	産業と精神保健専門委員会	委員	4 人
26. 3. 6	会報編集委員会	委員	4 人
25. 10. 23	教育と精神保健専門委員会	委員	4 人
25. 6. 23	教育と精神保健専門委員会懇談会 「学校と医療をつなぐ懇談会 - こどもの心のケアに当たる医師によるミニ相談会」	教育関係者	31 人

計 35 回 1,194 人

## オ 石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会

昭和 63 年に当センターでメンタルヘルスボランティア講座が開催された。引き続き保健所が中心となって地域住民に対し、継続的に教育が行われており、ボランティアを志す人達がグループを作って積極的な活動がなされるようになった。平成 11 年に連絡会が開催され、平成 13 年度に「石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会」が発足。平成 25 年度には県内のグループ数は 9 となっている。



## (7) 青年期心の健康づくり推進事業(ひきこもり相談支援事業)

青年期のいじめや家庭内暴力、不登校、ひきこもりなどが社会問題化してきている中で、平成13年4月から、県全体の取り組みとして当該事業が始められた。

当該事業は、青年期の問題のうち主にひきこもりや不登校を対象とし、総合的な対応を行うために、地域の保健所や関係機関と連携を取りながら、相談や家族交流会及び平成24年度から必要に応じてアウトリーチ(訪問相談支援)等の活動を行った。

### ア 個別相談

専用の相談窓口、相談日を設けることなく、随時相談に応じている。

表1 ひきこもり・不登校相談件数

区 分	件数(延)
電 話 相 談	197 件
来 所 相 談	823 件
訪 問 相 談	43 件
合 計	1,063 件

相談の背景にひきこもり状態があるものを含む

### イ ひきこもり家族教室

目的：ひきこもりや不登校のことで悩む家族が、よりよい対応をできるよう、ひきこもりについての知識・理解を深める

対象：ひきこもり・不登校のことで悩んでいるご家族

表2 家族教室の開催状況

回 数	日 時	内 容	参加人数
第1回	平成25年7月29日	講義「ひきこもりの理解と対応」	22人

\* 同日にひきこもり家族交流会を実施した。

## ウ ひきこもり家族交流会

目的：家族が自分たちの経験や思いを共有することで孤立感を和らげ、よく似た立場の人に出会う場となり、ひきこもりの問題に立ち向かっていけるよう、ひきこもりの問題に対処してきた者同士が交流することで、それぞれが抱えている問題への対処能力の向上や変化を促進するために家族同士が安心して交流する場を設け、家族のグループ活動を行うことを支援した

対象：「ひきこもり家族教室」と「ひきこもり家族交流会」に参加経験のある家族、及び、当センターで個別相談を継続している家族

内容： ミニ講座 ウォーミングアップ(気分調べ) 家族同士の話し合い(交流会) まとめ 気分調べを行った。

表3 家族交流会の開催状況

回数	日時	参加家族数
第1回	平成25年7月29日	9家族10人
第2回	平成25年8月26日	5家族5人
第3回	平成25年10月20日	25家族27人
第4回	平成25年12月8日	14家族16人
第5回	平成26年2月23日	18家族20人

## エ ひきこもり当事者グループ(悠友クラブ)

目的：ひきこもりの若者たちが安心して居られる「居場所」を確保し、同じような悩みを分かち合える仲間との交流体験を通して孤独感を軽減する。また対人関係の持ち方を学ぶことで社会性と活動性の向上を図り、ひきこもりや社会不適應からの脱却を支援する。

対象：概ね18歳以上35歳以下のひきこもり状態の若者

日時：毎月第2、3、4、5水曜日13:30～15:30

回数：年41回

参加者：実人数25人(男性21人女性4人)延べ353人

定員：10名程度

内容：スポーツ、話し合い、しゃべり場、カラオケなど参加者が話し合いによって決める

## オ ひきこもり支援者研修会

目的：ひきこもりに関わる相談支援者が、ひきこもりの子を持つ家族自身の負担の低減、家族関係の改善、家族の働きかけによるひきこもり当事者の相談機関の利用の促進等を図ることが可能となるよう研修会を開催し、ひきこもり相談支援の強化を図る。

参加者：ひきこもり相談支援に関わる保健、医療、福祉、教育、労働等の関係機関職員 36名

日時：平成26年3月11日 13時30分～16時

会場：県立中央病院健康教育館 大研修室

内容：講義「ひきこもり当事者と家族のやる気を引き出す認知行動療法」

講師：徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部  
准教授 境 泉洋（さかい もとひろ）

## カ ひきこもり対策地域ネットワーク会議（全体会議）

目的：ひきこもり相談支援に関わる、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関とNPO法人及び民間団体等が一堂に会して情報交換することにより、各相談支援機関の取り組みに関して相互に理解するとともに、関係機関の連携と石川県におけるひきこもり相談支援体制の充実を図る。

参加者：ひきこもりの相談支援に関わる医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関職員、及び、ひきこもり支援団体やNPO法人職員等 27名

日時：平成25年7月17日 10時～12時00分

会場：こころの健康センター 研修室

内容：各機関の活動紹介、意見交換

## キ ひきこもり支援公開講演会

目的：地域や家庭の中で埋もれているひきこもりの実態調査と支援事業（既存の社会資源、新たな支援サービスの開発、居場所づくり）を結びつけた事業を展開することにより、地域活性化にも繋げた過疎の町の取り組みについて学び、石川県におけるひきこもり支援について考える機会とする

参加者：ひきこもり相談支援に関わる医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関職員、及び支援団体職員、一般 82名

日時：平成25年7月17日 13時30分～15時45分

会場：こころの健康センター 研修室

内容：講演「地域におけるひきこもりの早期発見と居場所づくりへの支援  
～藤里町社会福祉協議会の実践から～」

講師：社会福祉法人藤里町社会福祉協議会  
事務局長 菊池 まゆみ

## ク 第2回ひきこもり支援公開講演会

目 的：ひきこもりについて理解し、家族の対応の仕方と、ひきこもり世帯を取り巻く関係者や関係機関の行動について考え、ひきこもりについて理解を深める。

参加者：ひきこもりに悩む家族、当事者、ひきこもりの問題や若者の社会参加に関心のある方、民間支援機関関係者、民生・児童委員、行政関係者等 72名

日 時：平成26年3月11日 10時～12時

会 場：県立中央病院健康教育館 大研修室

内 容：講演「ひきこもり当事者と家族に希望をもたらす支援とは」

講師：徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部  
准教授 境 泉洋（さかい もとひろ）

### (8) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成 13 年 10 月の DV 防止法の施行に先立ち、平成 13 年 4 月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設している。

表 1 DV 個別相談件数

区 分		計	面接相談	電話相談
DV に関する相談件数		290 件	95 件 (25)	195 件
うち DV 抑止に関する相談		183 件	83 件 (17)	100 件
相 談 者 内 訳	加 害 男 性	165 件	78 件 (13)	87 件
	加 害 女 性	0 件	0 件	0 件
	被 害 女 性	8 件	3 件 (2)	5 件
	被 害 男 性	5 件	1 件 (1)	4 件
	加害男性の家族等	4 件	1 件 (1)	3 件
	被害女性の家族等	0 件	0 件	0 件
	そ の 他	1 件	0 件	1 件

( ) は実件数

### (9) 自殺予防対策推進事業

平成 10 年より自殺者数が急増しており、自殺の予防対策として自死遺族交流会及びこころの緊急支援事業を実施した。

#### ア 自死遺族交流会

家族を自殺で亡くした方達が、苦しい気持ちを語りあったり、傾聴し、互いに支え合ったりしていく場として、平成 18 年 11 月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時 奇数月の第 1 土曜日 14:00 ~ 16:00  
場 所 金沢市内  
実施回数 6 回  
参加人数 実 12 人 延べ 27 人

#### イ こころの緊急支援事業

石川県こころの緊急支援事業では、県内の学校で重大な事件事故が起こった際、CRT(クライシスレスポンスチーム)を派遣し、子どもたちに「こころのケア」を行う学校を側面から支援するものです。

全国では平成 15 年山口県でスタートし、現在 6 県が実施しており、石川県は平成 21 年 9 月から取り組んでいる。

## C R T 派遣業務概要

目的	学校で危機的な事件事故が発生した場合、C R T を派遣することにより、二次被害の拡大防止とこころの応急処置を行う
対象	石川県内の小・中・高等学校及び特別支援学校等に所属する子ども達の多くが心に傷を受ける可能性がある事件・事故等
派遣メンバー	石川県こころの緊急支援チームに登録された専門家数名 (精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士、保健師等)
支援内容	二次被害の拡大防止とこころの応急処置 被害評価とケアプラン策定の手助け 教職員への助言、心理的サポート 保護者への心理教育 子どもと保護者への応急対応 その他
派遣期間	3日間以内
派遣依頼方法	所轄の教育委員会または当該学校長からC R T 専用電話で派遣要請 <b>専用電話 080 - 2951 - 5574</b> * 派遣要請は24時間受け付けるが、個人からの依頼には対応しない。事業の詳細に関する問い合わせ：石川県こころの健康センター相談課
派遣の判断基準	派遣対象となる事件・事故の規模は、表「学校危機のレベル」で中規模(レベル 弱から)。ただし、同じような事例に見えても子ども達が受ける衝撃度は異なるので、問い合わせた上で判断。
受け入れについて	・経費の負担なし。 ・食事など身の回りの心配不要。 ・専用の控え室の用意。

## ウ 自殺危機初期介入研修(ゲートキーパー養成等事業)

地域の相談窓口や受付窓口、地域で悩みを抱えた人の周囲の人たちを対象とした出前講座、対面で接客等を行う職域の方や、企業のメンタルヘルス担当者等に職場内ゲートキーパー講習を実施するためのリーダー養成研修を実施した。

また、昨年度までに養成したゲートキーパーリーダーの活動状況を把握し、更なる資質向上を目指し、自殺予防につなげるためにフォローアップ研修を行った。

「ゲートキーパー」とは、自殺の危険性の高い人の早期発見、早期対応を図るため、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応をとる役割を担う人。

対象	実施日	対象地区	参加人数
日本精神科看護協会	6月22日	全県	50人
ケアマネージャー（小松安宅の里）	8月27日	南加賀	30人
薬局薬剤師	10月27日	金沢	30人
薬局薬剤師	11月2日	能都北部	30人
高松病院職員	11月11日	石川中央	50人
県立中央病院救急部看護師	11月19日	金沢	20人
理容組合金沢支部	11月22日	金沢	50人
理容組合	11月25日	金沢	30人
リーダー（フォローアップ）	1月20日	全県	17人
県及び市町の自殺対策担当者（リーダー養成）	2月24日	全県	9人

講 師 こころの健康センター精神科医師

角田 雅彦

## エ アルコール・薬物、ギャンブル依存症教室

アルコール・薬物、ギャンブル等の依存と自殺には密接な関係があると指摘されている。

平成22年度よりアルコール・薬物、ギャンブル依存症患者、家族、支援者等に対し、依存症に対する理解を深め、対応を身につけ適切な支援を行えるようになることを目的として依存症教室を行っており、平成25年度は6回開催した。

参加人数

（単位：人）

開催日	テーマ	ギャンブル 依存症教室 (10:00～12:00)	アルコール・薬物 依存症教室 (13:00～15:00)	計
5月28日	依存症って何？	14	35	49
7月23日	なぜ、やめられないのか	18	46	64
9月24日	回復のために何ができるのか	10	39	49
11月26日	どうしたらやめられるのか	18	46	64
1月28日	アディクションの問題から 周囲が受ける影響	19	34	53
2月25日	依存症に伴う困難	20	28	48
	計	99	228	327

場 所 石川県こころの健康センター 2階研修室

講 師 新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子

## オ 依存症教室事例検討会

平成 24 年度よりアルコール・薬物、ギャンブル依存症者や家族を支援する関係者と事例検討会を実施している。

実施回数	開催日	参加人数
1 回	5 月 28 日	12 人
2 回	7 月 23 日	9 人
3 回	9 月 24 日	6 人
4 回	11 月 26 日	9 人
5 回	1 月 28 日	12 人
6 回	2 月 25 日	10 人
計		58 人

場 所 石川県こころの健康センター 2 階研修室  
講 師 新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子  
こころの健康センター精神科医師 角田 雅彦

## カ うつ病家族教室

自殺予防週間の一環として、うつ病の家族が、患者へのよりよい対応ができるよう、病気についての知識・理解を深めることを目的とし、平成 24 年度からうつ病家族教室を開催している。

開催日時：平成 25 年 10 月 28 日（木）13 時 30 分～15 時

場 所：石川県こころの健康センター 研修室

講 師：石川県こころの健康センター所長 角田雅彦

内 容：うつ病の理解と対応

相 談 者：8 人

個別相談：0 人

## キ 講演会及び民間団体による合同相談会

自殺予防週間、自殺対策事業の一環として、それぞれ 9 月と 3 月に民間団体と県が共催し以下の事業を実施した。当事業の企画に関し、かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ（以下の民間団体：石川県宗教連盟、NPO 法人金沢あすなる会、NPO 法人子ども虐待防止ネットワーク石川、公益社団法人金沢こころの電話、国際チャリティ協会アムリタハート北陸、子ども夢フォーラム、財団法人メン



タルケア協会北陸事務所、ひまわりの会、ほっとの会、NPO法人ささえる絆ネットワーク北陸)と打ち合わせ会及び情報交換会を8回行った。

期日	内 容	場 所
9月16日 (月・祝)	<p>第 部 基調講演 演題「若者のかけがえのない命を守るために」 講師 NPO 法人心に響く文集・編集局 代表 茂 幸雄</p> <p>第 部 シンポジウム 「若者のかけがえのない命をまもるために ～今、私たちができること」</p> <p>シンポジスト 子ども夢フォーラム 代表 高木 眞理子 (財)メンタルケア協会北陸事務所 代表 坂尻 他津子 (一社)石川県助産師会 副会長 石田 美幸 ひまわりの会 代表 安田 文子</p> <p>助言者 NPO 法人心に響く文集・編集局 代表 茂 幸雄 コーディネーター 石川県こころの健康センター 所長 角田 雅彦</p> <p>第 部 民間団体による合同相談会</p> <p>講演会等参加者：130人 相談会相談者：6人</p>	アートシア ターいしか わホール
3月8日(日)	<p>オープニングアクト アカペラ 金沢大学アカペラサークル MeloMelo 所属のグループ</p> <p>第 部 講演会 演題「自殺のメディア論」 講師 評論家/シノドス編集長 荻上 チキ</p> <p>第 部 座談会 若者の体験談、家族の体験談 助言者 評論家/シノドス編集長 荻上 チキ コーディネーター 石川県こころの健康センター 所長 角田 雅彦</p> <p>第 部 合同相談会</p> <p>講演会等参加者：80人 相談会相談者：5人</p>	石川県政記 念しいのき 迎賓館セミ ナールーム B

## ク 自殺予防対策における自殺未遂者支援体制整備

平成 25 年度は、自殺予防対策の一環として自殺のハイリスク者である自殺未遂者支援体制整備に向け連絡会や意見交換会を 3 回開催した。

期日	内 容	参加者
8 月 6 日 (月)	自殺未遂者支援体制整備について ミニ講義「自殺未遂者への支援の重要性について」 石川県こころの健康センター 所長 角田 雅彦 県内消防署の自殺未遂者への対応状況中間報告 石川県こころの健康センター主幹 川本 晶広 検討会	県内保健福祉セ ンター  障害保健福祉課 計 12 人
9 月 1 7 日(火)	自殺未遂者支援体制整備について ミニ講義「自殺未遂者への支援と関係機関との連携」 石川県こころの健康センター 所長 角田 雅彦 意見交換会 自殺未遂者への支援・連携に関する意見交換会	県内救急告示医 療機関 県内消防署 県内保健福祉セ ンター 障害保健福祉課 計 35 人
9 月 2 6 日(木)	自殺未遂者支援体制整備について 講演「関係機関との連携による自殺未遂者への支援 ～堺市いのちの応援係の実践」 堺市健康福祉局健康部精神保健課 いのちの応援係長 豊坂 民雄	県内保健福祉セ ンター  障害保健福祉課 計 11 人

## ケ ハローワークにおける包括相談事業

県内 4 保健福祉センターとこころの健康センターの 5 機関が、県内のハローワークを会場にして、9 月と 3 月に、こころの相談や多重債務の相談等を 1 会場でも職種に相談できる包括相談会を実施した。(当センター実施分)

開催日	会 場	出務者(職種)	相談件数
9 月 3 0 日	金沢ハローワーク	医師・保健師・精神保健福祉士	3
2 月 1 8 日	金沢ハローワーク	医師・保健師・精神保健福祉士	1

## コ こころに寄り添うソーシャルサポートネットワーク研修会

自殺予防対策の一環として、地域で行う包括的なこころのケアのあり方について、被災地の現状から、平常時からの取り組みを考える機会とした。

- 1 実施日 平成 26 年 2 月 24 日 ( 月 ) 13 時 00 分 ~ 15 時 50 分
- 2 開催場所 石川県こころの健康センター 2 階研修室
- 3 内 容 講演 「命を守るソーシャルキャピタルの重要性  
~ 東日本大震災 3 年目の教訓 ~ 」  
講師 岩手看護短期大学 地域看護学専攻 鈴木 るり子教授  
実践報告「命を守る・心を守るインフォーマルサポート  
~ 看護職の実践 ~ 」  
講師 盛岡なでしこ代表 佐々木 典子氏
- 4 対象者 市町保健福祉担当者、県保健福祉センター担当者、医療関係者、大  
学関係者、一般県民等
- 5 参加者 27 名

## (10) 子どもの心のケア推進事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題が社会的課題となっているが、子どもの心の問題の診療を担う医師が少なく、保護者はもとより保育所や学校等においてもその対応に苦慮している現状がある。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・保健・福祉の各分野が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な成長と発達を見守り続けることができる支援体制づくりを目標に平成20年度から取り組んでいる。

子どもの心の問題について地域で安心して相談できる、また医療と教育がより連携できる体制づくりを目指し、各事業を実施した。

### ア 子ども心のケア支援事業

発達障害やうつ病的疾患及び摂食障害等の子どもの心の健康問題について、子どもや家族等に対する確で継続的な支援を行うことを目指し、医療・教育・保健・福祉の関係機関や関係団体等が連携した支援を行うためのネットワークを構築する。

会議名	事業主体	出席者	実施内容
ケアネットワーク事業検討会（1回）	県少子化対策監室	医療・教育・保健・福祉の実務担当者等	事業概要 事業の進捗状況について 25年度計画について

### イ 子ども心のケア・相談事業

子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援機関を紹介するなどコーディネート機能を充実する。電話や来所面接による個別相談を実施。

電話相談（延）

年代	性別	件数(延)	相談者内訳		
			父	母	その他
幼児	男	5	0	5	0
	女	3	0	1	2
小学生	男	38	1	34	3
	女	9	2	7	0
中学生	男	59	7	38	14
	女	48	4	37	7
高校生	男	67	3	39	25
	女	132	14	75	43
その他	男	11	0	7	4
	女	14	1	9	4
計	男	180	11	123	46
	女	206	21	129	56
合計		386	32	252	102

来所・出張相談

年代	性別	件数 (実)	件数 (延)	相談内訳(重複あり)				出張(実) <延>
				父	母	本人	その他 <sup>2</sup>	
幼 児	男	1	5	0	4	4	5	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
小学生	男	3	28	1	27	15	0	1<2>
	女	1	1	0	1	1	0	0
中学生	男	13	42	14	36	23	1	0
	女	13	48	0	46	26	3	0
高校生	男	24	113	4	71	64	14	0
	女	19	115	14	73	66	2	1<5>
その他 <sup>1</sup>	男	6	7	3	5	3	0	0
	女	3	53	5	27	27	0	0
計	男	48	195	22	143	109	20	1<2>
	女	36	217	19	147	120	5	1<5>
合 計		84	412	41	290	229	25	2<7>

1：義務教育後、高校等に在籍していないもの

2：学校、その他の家族など

来所相談内容(実)

年代	不登校 (不適応)	ひきこ もり	発達上の 問題	性格・ 行動	いじめ・子 どもの不安	非行	症状 (チック、 解離など)	身体上の 悩み	合計
幼 児	0	0	0	1	0	0	0	0	1
小学生	1	0	1	2	0	0	0	0	4
中学生	17	0	1	8	0	1	0	0	27
高校生	25	0	4	12	0	1	1	0	43
その他	0	7	0	1	0	0	1	0	9
合計	43	7	6	24	0	2	2	0	84

来所経路(実)

年代	直 接	医療機関か らの紹介	学校から の紹介	その他	合計
幼 児	1	0	0	0	1
小学生	1	1	2	0	4
中学生	14	2	6	5	27
高校生	12	3	20	8	43
その他	5	0	1	3	9
合計	33	6	29	16	84

## 処遇状況（実）及び他機関との連携状況

年代	対応について助言	継続面接	他機関へ紹介（病院等）	合計	他機関との連携状況 （連携先：医療機関、児童相談所、学校、市町教育センター）
幼 児	0	1	0	1	0
小学生	2	2	0	4	2
中学生	13	8	6	27	10
高校生	15	16	12	43	17
その他	5	4	0	9	0
合計	35	31	18	84	29

## ウ 子ども心の支援事例検討会

目 的：支援内容の検討及び情報共有により、子どもへの総合的な支援を実施。

子ども心を診る専門医や専門家、携わる関係者の育成強化をはかる。

参集者：子ども心の問題に携わる医療・教育・保健・福祉関係者

会議名	開催回数	参加者	実施内容
未就学児・学童 期事例検討会	年 5 回 （こころの健 康センター）	延 6 9 人 （保育関係）	助言者： 医王病院 大野 一郎 （小児科医師） こころの健康センター 所長（精神科医師） 支援課長（心理職） 日野 和美（元保育士）
児童・青年期事 例検討会	年 4 回 （こころの健 康センター）	延 1 1 8 人 （教育関係）	助言者： ほんだクリニック院長 本田 徹
精神科医師等 事例検討会	年 4 回 （こころの健 康センター）	延 4 2 人 （医療関係）	助言者： ほんだクリニック院長 本田 徹

## エ 子ども心の啓発普及研修会

医療、教育、保健、福祉等、子ども心の問題に関する治療及び支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

県内で開催した研修会

研修会等	実施日・会場	参加者	実施内容
関係者育成 研修会（育成 セミナー）	1回目 平成25年 7月21日（日）  会場：こころの 健康センター	医療・教育・ 保健・福祉等 関係者  44人	講演「性別違和感をもつ子どもへの対応」 講師：岡山大学大学院 保健学研究科教授 中塚 幹也
	2回目 平成25年 11月23日（土）  会場：こころの 健康センター	対象：同上  AM 68人 PM 88人 計 90人	事例検討（AM）と講演会、ディスカッション（PM） 「子どもの不登校、ひきこもりへの理解と対応」 講師：愛育病院 小児精神保健科部長 齊藤 万比古

中央で開催された高度な研修・会議への参加

研修会・会議等	実施日・会場	参加者	実施内容
第5回子どもの心の診療 ネットワーク事業連 絡会議	平成25年 7月5日（金）  会場：東京都	こころの健康 センター医師 1人	子どもの心の診療ネットワ ーク事業の内容説明 ・震災について ・福祉との連携について ・指標データについて
第6回子どもの心の診療 ネットワーク事業連絡 会議	平成25年 12月19日（木）  会場：東京都	こころの健康 センター職員 2人	子どもの心の診療ネットワ ーク事業の内容説明 ・指標データについて ・医療間連携について
視察研修	平成26年 3月10日（月）  会場：東京都	子どもの心に 携わる医療機 関及びこころ の健康センタ ー職員等4人	東京都立小児総合医療セン ターの視察研修

オ 普及啓発

『いしかわ子どもの心のケアネットワーク』を改訂した小冊子『子どもの心の診療・相談機関情報ガイド』を作成し、各関係機関へ配布した。子どもの心の問題に関する診療及び相談機関について周知を図っている。

## (11) 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に長期にわたり入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば在宅生活が可能と見込まれる人及び入院期間が1年未満の人であっても地域生活への支援を行わなければ社会的な入院の長期化が見込まれる人に対し、地域での在宅生活に向けての支援を行うため、以下の事業を行った。

### ア ピアサポーターの養成研修会

#### (ア) ピアサポーター養成研修会

目 的：仲間をサポートできる当事者の養成とその支援体制の充実強化を図る

日 時：平成 25 年 10 月 25 日（金）13:00～14:45

場 所：石川県こころの健康センター 2 階研修室

参加者：当事者、精神科医療機関、保健所職員、相談支援事業所職員等 36 人

内 容：実践報告

「みなぎる会（ピアサポートのと）の実戦から」

講師：ピアサポートのと相談支援専門員 木谷 昌平

みなぎる会メンバー数人（ピアサポーター）

#### (イ) 精神障害者地域移行支援・地域定着支援に関する連絡会

日 時：平成 25 年 10 月 25 日（金）15:00～17:00

参加者：精神科医療機関、保健所職員、相談支援事業所職員等 24 人

### イ 地域体制整備コーディネーター及びピアサポーターの配置

金沢市在住の対象者の地域生活体制の調整を行うコーディネーターを配置し、金沢市、精神科病院、相談支援事業所との連携、ピアサポーターの養成、助言、登録を行った。

ピアサポーターの登録人数：5 人



## (12) 調査研究

第49回全国精神保健福祉センター研究協議会（平成25年10月22日三重県）において報告した。

### 自損行為を行う者及びその家族に対する消防職員の対応に関するアンケート調査について

石川県こころの健康センター

川本晶広、角田雅彦、飯田芳枝、久保かおり

#### 1 はじめに

石川県では、自殺対策の一環として、平成20年度から、自殺未遂者等が搬送される救急告知病院での対応と自殺未遂者のうち精神科医療が必要な人を精神科病院等の関係機関に繋げるための体制づくり強化を目的とした事業を行ってきた。

今般、県内消防本部幹部職員との話し合いの中で、救急対応した自損行為者（自殺、自殺未遂、自傷行為）のうち3割を超える人が未搬送となっており、搬送業務にあたる職員が自損行為者への対応に困る事例があるとの訴えがあり、悲惨な現場への臨場や激務のために職員の中に疲弊している者がいるとの話が聞かれた。

このため、消防職員が自損行為者やその家族に適切に対応し、ゲートキーパーとしての役割を果たすために、県内11消防本部における自損行為者の対応実態と、各消防職員の対応状況及び消防職員のこころの健康状況を把握するために、アンケート調査による実態を把握した。

2 調査方法 県内11カ所の消防本部による対応状況は、担当職員による記入

3 調査期間 平成25年6月～7月上旬

4 回答率 100%

#### 5 結果

平成24年は表1のとおり、救急搬送依頼があった39,030件のうち93%を超える傷病者を搬送しているが、自損行為者は477件のうち64.6%の人しか搬送されていなかった。

自損行為の内訳は表2のとおり、縊死が159件で33.3%と最も多く、大量服薬28.3%、リストカット18.9%、飛び降り6.5%で、その他として練炭、入水、有毒ガス、列車飛び込みなどの方法で自傷行為を図っていた。

表1 救急搬送の状況

	救急搬送依頼件数		救急搬送件数	
		うち自損行為者		うち自損行為者
件数	39,030	477	36,394	308
搬送率			93.2%	64.6%

表2 自損行為の内訳

行為	縊死	大量服薬	リストカット	飛び降り	その他
件数	159	135	90	31	62
率	33.3%	28.3%	18.9%	6.5%	13.0%

自損行為者への対応マニュアルや対応方針の有無については、マニュアルがあるところはなく、対応方針を決めて取り組んでいるところは1消防本部のみで、10消防本部は対応方針がなかった。

「死にたい」という電話がかかった場合にどのような対応をしているかの問いには、全消防本部で統計が無いとのことで、電話があり対応したことがあると答えた5消防本部のうち4消防本部で対応の仕方が分か

らない、自殺を心配し対応に困ったという回答があった。

不搬送事例 169 件については、全消防本部で事例があり、表 3 のように、死亡による不搬送が 141 件で 84.4%を占めていた。15 件は搬送が必要であったにもかかわらず本人・家族が搬送を拒み、8 件は症状が軽かったため搬送していなかった。

表 3 不搬送理由

理 由	死亡	本人・家族の拒否	症状が軽い	その他
件 数	141	15	8	5

また、ひとりの人に対して複数回の搬送依頼があり搬送した事例については、5 消防本部から回答があり、自損行為により病院に搬送後、しばらくしてから帰宅して再度自損行為に及ぶ事例が複数あり、その中に既遂していた事例もあった。

自損行為者やその家族への対応に困ったことについては、表 4 のように自損行為を繰り返すことや精神疾患に伴う対応の困難さ、自損行為者と家族との意見の相違や個人の寂しさといった生活環境要因などにより多岐にわたる事例に対応しており、夜間の相談窓口が必要との意見もあった。

表 4 自損行為者やその家族への対応に困ったこと

- ・ 家族が搬送を強く懇願するが行為者が搬送を拒否する
- ・ 精神疾患がある場合が多く対応に苦慮する
- ・ 家族が取り乱しており情報収集が困難
- ・ 大量服薬等により情報がつかめない
- ・ リストカットを繰り返す
- ・ 搬送後、再度自損行為を行い搬送依頼がある
- ・ 搬送するほどではないのに、寂しさから通報してくる

対応に伴う関係機関との連携について、各消防本部は、死亡事例については警察署へ引き継いでおり、その他は、精神科病院へ 4、救急告知病院へ 3、市町へ 3、保健所へ 1 と、それぞれの消防本部が連絡を取っていた。

一方、消防職員のこころの健康に関する対策については、職員に対する研修会を開催しているところもあったが、11 消防本部中 8 消防本部が特に取り組みはしておらず、どの消防本部も、職員に対するストレスチェックの実施や研修会を行う必要があると答えていた。

当センターに対して、自損行為者等への対応に困った際の相談（7 消防本部）や研修会の開催（5 消防本部）の要望があり、自損行為者への対応方法や精神疾患の知識、消防職員の心的外傷後ストレス障害等のこころのケアに関する研修会を希望していた。

## 6 考察

今回のアンケート調査に対して、全消防本部が積極的に協力していることから、消防本部は自損行為者への対応と消防職員のこころのケアに関して関心を持っていると思われる。

調査のきっかけとなった不搬送事例のうち、搬送を拒んだり、症状が軽いために搬送されていない事例については必要な支援を受けられずにいる可能性があり、消防職員は平成 24 年の自殺者 265 人のうち少なくとも 53.2%にあたる 141 人の自死遺族と接していることが分かった。

消防職員は、自損行為者を搬送するだけでなく、自損行為者やその家族への対応、自死遺族との関わり、うつ病をはじめとした精神疾患患者への対応など、個別事例に戸惑いながらも対応していることが分かった。

## 7 まとめ

消防職員が自損行為者やその家族に適切な対応ができるよう、うつ病をはじめとした精神疾患や対応の仕方に関する理解を深めることが必要であるとともに、消防職員が自損行為者やその家族に適切な助言や情報提供するための仕組みをつくる必要がある。

また、夜間でも消防職員が相談できる窓口の設置や、自損行為者と最初に接する消防（救急）と救急告知病院、精神科病院、行政等とのさらなるネットワーク構築が課題である。

同時に、消防職員が職務に専念できるよう、こころの健康を図るための支援が必要である。

### 3 支援課（発達障害支援センター）業務

#### (1) 発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で、1回～数回の相談で終了する相談支援、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して、継続的に支援する発達支援、就労に関して継続的に支援する就労支援を行っている。

表1 年齢別

年齢区分(歳)		0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～	不明	合計
相談支援	実人員	17	15	60	61	33	190	19	395(93)人
	延件数	42	29	170	135	120	772	32	1,300(105)件
発達支援	実人員	89	115	49	4	4	37	0	298人
	延件数	1,461	1,732	605	63	26	644	0	4,531件

年齢区分(歳)		18歳未満	18歳以上	合計
就労支援	実人員	0	52	52人
	延件数	0	644	644件

( )は内数で県外居住者及び居住先不明者の合計

表2 相談支援の主な相談内容(平成25年4月～平成25年9月末)

情報提供	家庭生活	健康・医療	教育	保育	療育	進路相談	自立支援	就労	その他	合計
41	120	211	72	5	5	17	3	78	54	606件

相談支援の主な相談内容(平成25年10月～平成26年3月末)

相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	現在の生活に関することや家庭で家族ができることを知りたい	利用できる制度について知りたい	診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	進路や将来の生活に関する相談をしたい	対応困難な状況の改善について相談したい	今後の就労について相談したい	現在勤めている職場に関する相談をしたい	その他	合計
174	108	41	29	25	38	17	38	11	213	694件

表3 相談方法

区 分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	767	25	417	91	1,300件
発達支援	833	3,631	62	5	4,531件
就労支援	614	1	18	11	644件
合 計	2,214	3,657	497	107	6,475件

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自 閉 症	86	84	40	210
アスペルガー症候群	24	4	3	31
A D / H D	16	5	1	22
L D	6	0	0	6
そ の 他	57	57	3	117
不明（未診断含む）	206	148	5	359
合 計	395人	298人	52人	745人

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

表5 相談者

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本 人	608	2,471	556	3,635
保 護 者 ・ 親 族	536	2,024	75	2,635
保 育 所 ・ 幼 稚 園	3	0	0	3
小 学 校	6	3	0	9
中 学 校	4	1	0	5
高 等 学 校	5	1	0	6
特 別 支 援 学 校	4	0	0	4
専 門 学 校 ・ 短 大 ・ 大 学	8	0	0	8
援 護 施 設 等	2	7	1	10
保 健 所	3	0	0	3
市 町 保 健 セ ン タ ー	4	0	0	4
行 政	10	5	0	15
医 療 機 関	69	9	7	85
公 共 職 業 安 定 所	4	2	2	8
障 害 者 職 業 セ ン タ ー	14	3	2	19
障 害 者 就 業 ・ 生 活 支 援 セ ン タ ー	0	2	1	3
児 童 相 談 所	5	0	0	5
そ の 他	15	3	0	18
合 計	1,300 件	4,531 件	644 件	6,475 件

援護施設等：更生・授産施設、通勤寮、福祉ホーム等

行政：保健所、市町保健センターを除く

表6 支援回数別実人員

区 分	1～10回	11回以上	合計
発達支援（実人員）	136	162	298人
就労支援（実人員）	30	22	52人

表7 支援期間別実人員

区 分	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上	合計
発達支援（実人員）	15	15	39	229	298人
就労支援（実人員）	0	2	3	47	52人

## (2) 精神科医による相談事業

囑託の精神科医による相談事業を月1回実施している。相談後の支援は、センターによる継続支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施しているが、今年度はすべてセンターでの継続支援だった。

表1 相談事業結果

実 施 回 数		12回
来 所 実 人 員		20人
来 所 延 人 員		20人
年齢別	0 ~ 3 歳	0
	4 ~ 6 歳	0
	小 学 生	4
	中 学 生	0
	16 ~ 18 歳	0
	19 歳 ~	16
	合 計	20
診察結果	障 害 な し	0
	経過観察(判定保留)	0
	自 閉 症	17
	アスペルガー症候群	0
	A D / H D	0
	L D	0
	知 的 障 害	1
	そ の 他	2
合 計	20	
支援内容	センターで継続支援	20
	医療機関紹介	0
	療育施設紹介	0
	その他の機関紹介	0
	他機関で管理中	0

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

(参考)

年度別各支援件数の推移

区分	相談支援	発達支援	就労支援	計
H20	1,725 (299)	1,964 ( 79)	409 ( 15)	4,098 (393)
H21	1,478 (343)	2,198 ( 93)	476 ( 22)	4,152 (458)
H22	1,664 (358)	2,036 ( 92)	635 ( 31)	4,335 (481)
H23	1,477 (357)	5,135 (329)	378 ( 26)	6,990 (712)
H24	1,558 (397)	4,957 (334)	477 ( 39)	6,992 (770)

注：( ) は内数で実人員

(3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、毎週木曜午前 10 時から午後 3 時まで、青年期を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
49 回	40 人	624 人	SST(対人マナー、社会見学、ストレス解消法、調理実習等)

(4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、第 3 金曜午後 7 時から 9 時まで、就労者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
12 回	10 人	51 人	談話会等



### (5) 親のつどい

平成 19 年 10 月より、第 2 火曜午後 1 時半から 3 時半まで、青年期の保護者を対象として実施している。

平成 21 年 12 月より、第 3 水曜午前 10 時から 12 時まで、学齢期の保護者を対象として実施している。

表 1 実施状況

区分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内 容
青年期	11 回	9 組	56 人	ピアカウンセリング、話し合い、学習会など
学齢期	3 回	6 組	10 人	ピアカウンセリング、話し合いなど

### (6) 関係機関等との調整会議

発達障害児(者)支援のネットワークの構築を目的とした会議を開催している。

表 1 開催状況

内容	発達障害 全般	療育	医療	教育	保健	福祉
回数	5	6	0	1	2	4

内容	就労	自立支援	その他	合計
回数	4	14	2	38 回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児(者)への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小 学 校	2	2
	中 学 校	0	0
	高 等 学 校	0	0
	特 別 支 援 学 校	0	0
	専 門 学 校 ・ 大 学	1	1
	放 課 後 児 童 ク ラ ブ	0	0
	市 教 育 研 究 所	1	13
	相 談 支 援 事 業 所	1	1
	市 町	3	4
	企 業	0	0
	保 健 福 祉 セ ン タ ー	1	13
	合 計	9 カ所	34 件
	支援内容	障 害 特 性 の 理 解	
指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言			16
心 理 査 定			1
事 例 検 討			17
研 修 会			0
そ の 他			0
合 計			34 件

### (8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児(者)に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区 分	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	合計
実 人 員	1	7	2	1	21	32人
延 件 数	1	13	5	1	27	47件

表2 障害種別

区 分	実支援人員
自 閉 症	24
アスペルガー症候群	1
A D / H D	0
L D	1
そ の 他	1
不明(未診断含む)	5
合 計	32人

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

表3 会議テーマ

内 容	開催回数
家 庭 生 活	2
健康・医療	1
教 育	19
保 育	0
療 育 支 援	1
進 路 相 談	0
自 立 支 援	3
就 労 支 援	21
そ の 他	0
合 計	47回

### (9) 普及啓発及び研修

発達障害児(者)の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

表1 公開講演会及び研修会開催状況

日時	会場	内容	講師	対象及び人数
平成25年 6月18日	石川県庁	発達障害を理解するための 研修会(金沢会場:基礎編) 「気になる子どもたち ～どう受け止め、どう理解し、 どう関わるか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラ ブ「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 145人
平成25年 6月28日	石川県庁	発達障害者等相談支援従事者 育成研修(基礎研修) 「発達障害者支援法について」 「発達障害の理解と支援」 「発達障害の基礎理解 ～医療的側面～」	県障害保健福祉課 湯谷 幹恵 発達障害支援センター 梅本 浩靖 ときわ病院 安本 真由美	市町、相談 支援事業所 等職員 23人
平成25年 7月3日	能登空港 生涯学習 センター	発達障害を理解するための 研修会(能登会場:基礎編) 「気になる子どもたち ～どう受け止め、どう理解し、 どう関わるか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラ ブ「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 35人
平成25年 7月13日	金沢市泉野 図書館	アセスメントツール基礎研修会 「アセスメントツール(PARS) を用いた発達歴の問診」	国立精神・神経医療 研究センター精神保健 研究所 三宅 篤子	行政、医療機関 相談支援事業 所等職員 61人
平成25年 7月25日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修(基礎研修)	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成25年 8月1日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修(基礎研修)	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成25年 8月8日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修(基礎研修)	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成25年 8月22日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修(基礎研修) 「ライフステージ別の現状 ～幼児・学齢期、思春期～」	日本ポーターズ協会 石川湖南支部 小坂 正栄	市町、相談 支援事業所 等職員 19人

平成25年 8月29日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（基礎研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成25年 9月2日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（基礎研修） 「支援の実際について」 「当事者の体験発表」	さいこうえんの障害者 生活支援センター 澤村 麻紀 ハッピータウンクオレ 浜崎 大輔 ピアサポートのと 木谷 昌平 当事者 3名	市町、相談 支援事業所 等職員 19人
平成25年 9月12日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（基礎研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成25年 9月19日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（基礎研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成25年 9月25日	石川県庁	発達障害を理解するための 研修会(金沢会場:実践編) グループワーク等	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラ ブ「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 41人
平成25年 10月1日	南加賀 保健福祉 センター	発達障害を理解するための 研修会(加賀会場:実践編) グループワーク等	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラ ブ「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 47人
平成25年 10月14日	地場産業振 興センター	発達障害支援センター 関係機関研修会 「発達障害と二次障害」	山梨県立こころの発達 総合支援センター 本田 秀夫	行政、医療機 関、教育関係 等職員 139人
平成25年 10月15日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成25年 10月23日	石川県庁	発達障害を理解するための 研修会(金沢会場:実践編) グループワーク等	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラ ブ「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 34人
平成25年 10月30日	能登空港 生涯学習 センター	発達障害を理解するための 研修会(能登会場:実践編) グループワーク等	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラ ブ「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童 クラブ指導員 等 10人
平成25年 11月12日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（実務研修） 「保護者の声を聞く」	保護者 4名	市町、相談 支援事業所 等職員 15人

平成25年 11月16日	金沢市異業種 研修会館	発達障害児者支援 関係機関研修会 「発達障害児者支援における連 携と支援体制の構築について」	厚生労働省 社会・援護 局 障害保健福祉部 障害福祉課 日誌 正文	市町、相談 支援事業所 等職員 35人
平成25年 11月16日	金沢市異業種 研修会館	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修） 「圏域ごとの話し合い」	厚生労働省 社会・援護 局 障害保健福祉部 障害福祉課 日誌 正文	市町、相談 支援事業所 等職員 10人
平成25年 11月19日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 6人
平成25年 11月21日	こころの 健康センター	発達障害等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成25年 11月28日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成25年 12月2日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成25年 12月4日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 2人
平成25年 12月9日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 5人
平成25年 12月12日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 1人
平成25年 12月13日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成25年 12月17日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成25年 12月26日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 1人
平成26年 1月7日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 5人
平成26年 1月8日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 4人

平成26年 1月17日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（実務研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 4人
平成26年 1月21日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 8人
平成26年 1月27日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 4人
平成26年 1月30日	こころの 健康センター	発達障害者等相談支援従事者 育成研修（フォローアップ研修）	発達障害支援センター 職員	市町、相談 支援事業所 等職員 3人
平成26年 2月5日 2月6日	白山市 宝達志水町 小松市 金沢市	発達障害支援にかかる 市町との連絡会	県障害保健福祉課 発達障害支援センター 職員	白山市 1人 宝達志水町 2人 小松市 3人 金沢市 5人
平成26年 3月1日	金沢市駅西 健康ホール	公開講演会 「発達障害の理解と支援 ～よりよい社会参加を めざして～」	横浜市総合リハビリ テーションセンター 児童発達支援事業所 「ぴーす新横浜」 日戸 由刈	医療、教育 行政、福祉 一般等 209人

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日 時	会 場	内 容	対象及び人数
平成25年 4月9日	金沢産業 技術専門学校	ワークサポート科講義	学生・教員 5人
平成25年 5月27日	こころの 健康センター	精神保健福祉担当者初任者研修会	市町、保健福祉センター 職員等 45人
平成25年 5月29日	こころの 健康センター	金沢工業大学大学院生講義	大学院生 4人
平成25年 5月31日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修会 企画会議	居宅介護従事者等 13人
平成25年 6月11日	こころの 健康センター	ワークサポート科勉強会	教員 3人
平成25年 7月2日 7月9日 7月10日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修会	居宅介護従事者等 62人
平成25年 7月6日	こころの 健康センター	いしかわ子どもの心のケア推進事業 未就学児及び学童期事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 19人
平成25年 7月17日	能登中部保健 福祉センター	精神疾患家族会学習会 「家族のメンタルヘルス」	患者家族 7人
平成25年 7月19日	金沢地方・ 家庭裁判所	家庭裁判所調査官等研修会 「発達障害及びその支援の実情について」	家庭裁判所調査官等 20人
平成25年 7月25日	こころの 健康センター	養護教員健康相談事例研究会 「発達障害の理解と対応」	養護教諭 15人
平成25年 7月26日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修会 反省会	居宅介護従事者等 12人
平成25年 7月29日	社会福祉会館	知的障害者居宅介護従事者基礎研修会	知的障害者居宅介護 従事者 11人
平成25年 8月3日	こころの 健康センター	いしかわ子どもの心のケア推進事業 未就学児及び学童期事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 20人
平成25年 9月26日	こころの 健康センター	保育専門学園専攻科実習	学生 2人
平成25年 9月27日	南加賀保健 福祉センター	いしかわ子どもの心のケアネットワー ク学習会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 40人
平成25年 9月27日	鞍月小学校	鞍月小学校育友会学習会 「親が子どもに出来ること ～心理学的視点から～」	鞍月小学校保護者 41人



平成25年 10月3日	石川県 警察学校	石川県警察学校講義 「知的障害・発達障害の理解」	学生・取調官 30人
平成25年 10月17日	金沢産業 技術専門学校	ワークサポート科講義	学生・教員 8人
平成25年 10月19日	こころの 健康センター	いしかわ子どもの心のケア推進事業 未就学児及び学童期事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 12人
平成25年 11月29日	南加賀保健 福祉センター	いしかわ子どもの心のケアネットワーク 学習会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 30人
平成25年 11月30日	こころの 健康センター	いしかわ子どもの心のケア推進事業 未就学児及び学童期事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 10人
平成25年 12月5日	こころの 健康センター	保育専門学園専攻科実習	学生 1人
平成25年 12月19日	駅西合同庁舎	学卒ジョブサポーター研修 「発達障害の特性と対応」	学卒ジョブサポーター 18人
平成25年 12月20日	石川職業訓練 支援センター	職業訓練指導員研修 「発達障害の理解と対応」	職業訓練指導員等 18人
平成25年 12月26日	こころの 健康センター	養護教員健康相談事例研究会 「発達障害を持つ生徒の成人期について」	養護教諭 18人
平成26年 1月25日	こころの 健康センター	いしかわ子どもの心のケア推進事業 未就学児及び学童期事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 12人
平成26年 1月31日	南加賀保健 福祉センター	いしかわ子どもの心のケアネットワーク 学習会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 36人
平成26年 3月14日	南加賀保健 福祉センター	いしかわ子どもの心のケアネットワーク 学習会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 38人

# 資 料

## 平成25年度石川県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター ・こころの健康センター精神保健相談状況

### 1 精神保健福祉相談状況(電話・来所・訪問)

#### (1) 内容別相談

区分	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	その他	合計(延)	
南加賀保健福祉センター(含む加賀地域地域センター)	電話	74	170	31	4	0	58	321	781	1439
	来所(実143)	27	50	10	1	0	43	75	155	361
	訪問(実54)	6	24	0	1	0	6	26	137	200
石川中央保健福祉センター(含む河北地域センター)	電話	64	898	84	13	4	75	351	58	1547
	来所(実108)	11	54	3	0	2	10	52	6	138
	訪問(実65)	14	117	11	4	0	8	44	4	202
能登中部保健福祉センター(含む羽咋地域センター)	電話	54	406	23	0	0	58	5	317	863
	来所(実85)	8	72	2	0	0	25	2	43	152
	訪問(実44)	7	24	4	0	0	3	0	39	77
能登北部保健福祉センター(含む珠洲地域センター)	電話	17	820	23	0	0	34	0	5	899
	来所(実69)	2	106	6	0	0	28	2	0	144
	訪問(実23)	1	60	0	0	0	0	0	0	61
泉野福祉健康センター	電話	2	748	16	16	1	14	145	39	981
	来所(実103)	0	95	4	2	0	7	57	1	166
	訪問(実43)	0	133	1	10	0	2	10	0	156
元町福祉健康センター	電話	15	460	22	0	0	1	216	47	761
	来所(実51)	0	37	6	0	0	0	27	0	70
	訪問(実42)	1	49	7	0	0	0	17	5	79
駅西福祉健康センター	電話	36	876	83	34	0	9	149	0	1187
	来所(実87)	8	73	15	0	0	0	37	0	133
	訪問(実51)	13	73	2	2	0	0	19	0	109
保健所計	電話	262	4378	282	67	5	249	1187	1247	7677
	来所(実594)	56	487	46	3	2	113	252	205	1164
	訪問(実349)	42	480	25	17	0	19	116	185	884
こころの健康センター	電話	41	254	44	24	25	451	1092	3801	5732
	来所(実449)	7	147	11	25	19	830	486	519	2044
	訪問(実9)	1	6	0	0	1	26	22	18	74

## 2 精神保健福祉相談状況(訪問指導)

### (1) 内容別相談

保健所	内容別件数		老人 精神 保健	社会 復帰	アル コール	薬物	ギャン ブル	思春 期	心の 健康づ くり	その他
	実	延べ								
南加賀保健福祉センター (含む加賀地域センター)	54	200	6	24	0	1	0	6	26	137
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)	65	202	14	117	11	4	0	8	44	4
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)	44	77	7	24	4	0	0	3	0	39
能登北部保健福祉センター (含む珠洲地域センター)	23	61	1	60	0	0	0	0	0	0
泉野福祉健康センター	43	156	0	133	1	10	0	2	10	0
元町福祉健康センター	42	79	1	49	7	0	0	0	17	5
駅西福祉健康センター	51	109	13	73	2	2	0	0	19	0
保健所計	322	884	42	480	25	17	0	19	116	185
こころの健康センター	9	74	1	6	0	0	1	26	22	18

## 精神保健福祉相談状況(訪問指導)

### (2)年齢区分別訪問指導件数

区分		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計
保健所											
南加賀保健福祉センター (含む加賀地域センター)	実	0	6	4	21	12	4	6	1	0	54
	延	0	14	11	63	63	24	24	1	0	200
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)	実	0	4	9	13	11	13	9	6	0	65
	延	0	9	41	21	29	63	22	17	0	202
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)	実	0	3	5	5	11	9	6	5	0	44
	延	0	3	8	10	18	16	16	6	0	77
能登北部保健福祉センター (含む珠洲地域センター)	実	0	0	2	6	5	5	2	1	2	23
	延	0	0	2	13	16	8	17	3	2	61
泉野福祉健康センター	実	0	2	3	10	8	10	6	4	0	43
	延	0	5	10	55	27	20	25	14	0	156
元町福祉健康センター	実	0	0	5	10	9	13	4	1	0	42
	延	0	0	5	20	20	27	6	1	0	79
駅西福祉健康センター	実	0	0	7	9	10	13	5	7	0	51
	延	0	0	9	20	27	30	9	14	0	109
保健所計	実	0	15	35	74	66	67	38	25	2	322
	延	0	31	86	202	200	188	119	56	2	884
こころの健康センター	実	0	1	4	2	1	0	1	0	0	9
	延	0	19	28	12	12	2	1	0	0	74

精神保健福祉相談状況(訪問指導)

(3)診断区分別(診断名はICD10に準ずる)訪問指導件数

保健所	実	延	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明	合計
南加賀保健福祉センター (含む加賀地域センター)	54	200	0	0	73	67	12	1	4	0	15	0	2	0	10	16	200
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)	65	202	9	9	106	31	13	0	5	5	9	0	0	4	3	8	202
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)	44	77	1	10	29	15	3	0	0	1	2	0	7	0	0	9	77
能登北部保健福祉センター (含む地域センター)	23	61	3	0	38	10	3	1	0	0	1	0	2	0	0	3	61
泉野福祉健康センター	43	156	19	1	91	27	9	0	3	0	0	0	0	0	0	6	156
元町福祉健康センター	42	79	1	2	18	10	1	0	0	2	1	0	0	1	0	6	42
駅西福祉健康センター	51	109	7	1	42	24	10	0	2	0	0	0	0	1	0	22	109
合計	322	884	40	23	397	184	51	2	14	8	28	0	0	10	34	70	861
こころの健康センター	9	74	0	0	2	15	6	0	2	5	1	4	0	0	39	0	74

### 3 普及啓発活動

保健所	区分 内容	講演会				その他			
		回数	人数	主なテーマ	対象	回数	人数	対象	
南加賀保健福祉センター (含む加賀地域センター)		2	82	自殺防止対策地域連絡会	国関係機関、医療機関、民生委員、教育関係、ボランティア、各種団体、社協、警察、消防、市町	11	1010	ゲートキーパー研修	食品衛生責任者、石川県薬剤師会、石川県理容生活衛生同業組合、一般企業衛生管理者・中一般住民
		2	85	平成24年度自殺防止対策研修会	国関係機関、医療機関、民生委員、教育関係、ボランティア、各種団体、社協、警察、消防、市町	4	550	自殺予防街頭キャンペーン (小松・加賀・能美)	一般住民
		1	38	青少年の性に関する研修会	小・中・高校の養護教諭、保健体育教諭、生活指導				
		1	18	自殺未遂者の対応の重要性について	管内救急告示医療機関				
		1	20	自殺未遂者の対応の重要性と救急隊員の心の	管内消防署救急隊員等				
石川中央保健福祉センター (含む河北地域センター)		1	49	自殺未遂者支援体制整備事業(救急告示医療機関向け)	救急告示医療機関	1		FM-N1	一般住民
		2	81	自殺未遂者支援体制整備事業(救急隊員向)	消防本部職員	5		管内広報「こころの健康相談」	一般住民
						5		管内広報「ひきこもり家族教室」	一般住民
						5		管内広報「うつ病家族教室」	一般住民
						3	365	自殺予防啓発キャンペーン	一般住民
						4	8	ハローワークにおける総合相談	一般住民
能登中部保健福祉センター (含む羽咋地域センター)		6	141	みんながゲートキーパー出前講座	市町、民生委員、養護学校教諭、薬剤師、等			自殺予防週間および自殺対策強化月間における自殺予防の普及啓発(街頭キャンペーン3か所、ラジオ・ホームページでの広報、ポスター・のぼり旗掲示、チラシ・自殺予防啓発	一般住民
		4	178	自殺未遂者支援研修	救急告示指定医療機関、救急隊員、等	4		自殺予防週間および自殺対策強化月間における自殺予防の普及啓発(包括相談会の実施、のぼり旗掲示、チラシ・自殺予防啓発グッズ配布等)相談者4名、自殺予防啓発グッズ162セット	ハローワーク来所者
		1	42	ひきこもり講演会	保育士、小中学校教諭、保健福祉行政、保健士				
能登北部保健福祉センター (含む珠洲地域センター)		2	41	思春期青年期こころの健康づくり事業講演会、事例検討会	学校職員、保健医療関係者	1	23	ゲートキーパー研修、自殺予防啓発パンフレットやグッズの配布	管内養護教諭の団体
		1	24	自殺対策推進地域連絡会議	管内の、医療機関、警察、騒動基準監督署、公共職業安定所、薬剤師会、奥能登広域圏事務組	1	12	ゲートキーパー研修、自殺予防啓発パンフレットやグッズの配布	管内市町相談窓口職員、当センター職員
		1	5	ほっとハート店推進事業への協力のためのゲートキーパー研修(講演会)。欠席された薬局を訪問し、講演資料及び啓発グッズの配布と事業協力依頼する。	救急告示指定医療機関、救急隊員、等	1	46	ゲートキーパー研修、自殺予防啓発パンフレットやグッズの配布	特定求職施設等栄養士及び調理師
						3	59	職場内ゲートキーパー養成事業	管内企業(建設業、森林業等)

保健所	区分 内容	講演会				その他			
		回数	人数	主なテーマ	対象	回数	人数	内容	対象
泉野福祉健康センター		1	66	市民公開講座 テーマ:双極性障害 講師:精神科医師(金沢医科大学病院川崎康弘教授)	一般市民	1	84	こころの健康づくり 講師:保健師 対象:学生	一般市民
		1	60	ゲートキーパー研修会 対象:理容組合 講師:精神科医師(こころの健康センター角田所長)	一般市民	1	72	対象:調理員学習会	
		1	27	メンタルヘルスポランティア合同学習会 講師:活動ボランティアの方々	一般市民	1	8	対象:中学生	
		1	36	自殺予防研修会 講師:精神科医師(産業保健推進センター 小山所長)	一般市民	2	58	対象:地域の学級	
		1	30	地区別うつ予防研修会(中村地区) 講師:精神科医師(金沢こころクリニック浜原院長)	一般市民	1	62	対象:子育て中の保護者	
		1	30	地区別うつ予防研修会(中村地区) 講師:精神科医師(金沢こころクリニック浜原院長)	一般市民	1	8	対象:地域のサロン	
元町福祉健康センター		1	60	うつ予防研修会 「うつ病の基本知識と関わり方」 講師:精神科医師	夕日寺地区住民	-	-		
		1	64	市民公開講座「統合失調症」 講師:精神科医師	市民				
		1	76	「不安障害」 講師:精神科医師					
		1	80	「こころの健康づくり」講師:保健師					
		1	25	「こころの健康づくり」講師:保健師					
駅西福祉健康センター		3	105	市民公開講座 講演「うつ病の理解と最新情報」 講師 金沢医科大学病院 川崎康弘医師 「職場復帰に向けてリワークプログラムの紹介」 講師 高松病院 湯辺純一臨床心理士	一般市民	4	147	こころの健康づくり 講師:保健師	一般市民
			50	市民公開講座 講演「アルコール使用障害～最新薬物も含め治療について考える」 講師 松原病院 森川恵一医師	一般市民				
			35	うつ予防研修会 講演「うつ病を正しく理解しましょう～あなたとあなたの大切な人のために～」 講師 金沢こころクリニック 浜原昭仁医師	戸板地区住民				

4 関係機関・団体との連携

保健所	区分		関係機関		関係団体					
	内容	回数	出席人数	内容	対象	回数	出席人数	内容	対象	
南加賀保健福祉センター		4	24	精神保健福祉担当者サロン会	各市町	12	12	電話や面談による活動支援	精神障害者家族	
		2	17	精神保健福祉事例検討会	小松市	3	12	活動支援(断酒会報持参、面談、アルコール依存症)	断酒会	
		8	19	精神保健福祉事例検討会・高齢者虐待事例検討会	加賀市	13	28	通報時連携	警察	
		1	7	精神保健福祉事例検討会	能美市	1	10	精神保健福祉事例検討会	学校	
		12	164	母子支援事例検討会	小松市	6	32	医療観察法関係ケア会議	保護観察所	
		12	113	母子支援事例検討会	能美市	6	83	小松・能美メンタルヘルスポランティア友の会役員会、学習会等	メンタルヘルスポランティア	
		11	30	母子支援事例検討会	川北町	16	62	精神保健福祉事例検討会	相談支援事業所	
		12	143	母子支援事例検討会	加賀市					
		1	12	小松市虐待防止協議会(DV対策部会)	小松市					
		2	35	小松市虐待防止協議会(いのちと心の部会)	小松市					
		1	10	能美市虐待防止協議会DV対策部会	能美市					
		1	16	能美市自殺防止対策連絡協議会	能美市					
	石川中央保健福祉センター		1	85	白山市障害者等自立支援協議会 全体会議	管内保健・医療・福祉・行政機関・地域関係	9	46	月例役員会・ちよに会総会	精神障害者家族会
			1	12	白山市障害者等自立支援協議会 定例支援会議		1	71	精神障がい者家族会と病院長等との懇談会	
		9	84	白山市障害者等自立支援協議会 メンタルヘルス支援検討部会		2	38	全国精神保健福祉家族大会委員会		
		1	6	白山市障害者等自立支援協議会 すまいのあり方検討部会		2	55	県立高松病院地域連携会議	病院	
		11	125	白山市子ども支援検討部会		15	99	ケア会議(病院主催)		
		1	19	野々市市障害者自立支援協議会						
		3	51	かほく市自立支援協議会						
		3	27	かほく市自立支援協議会くらし部会						
		5	47	かほく市自立支援協議会しごと部会						
		2	27	内灘町自立支援協議会						
		3	32	ケア会議(県関連主催)						
		11	84	ケア会議(市町)						
		3	26	ケア会議(事業所主催)						
		1	6	ケア会議(保護観察所主催)						
		1	16	自殺対策地域連携会議						
		1	16	精神障害者地域生活支援事業(地域連携会議内容も含む)						
能登中部保健福祉センター		3	42	自殺対策連絡会・委員	七尾市	10	74	みそぎ会(総会、定例会等)	精神障害者家族	
		1	6	自殺対策事業打ち合わせ	志賀町	5	34	心明会(総会、定例会等)		
		9	128	七尾市・中能登町地域自立支援協議会	七尾市・中能登町	9	127	圏域家族会交流事業		
		8	94	羽咋郡市障害者自立支援協議会	羽咋市・羽咋郡	4	16	同行訪問	警察	
		1	7	地域における発達障害児(者)支援体制にかかる市町連絡会	七尾市	1	1	同行訪問	病院	
		1	7	地域における発達障害児(者)支援体制にかかる市町連絡会	志賀町	3	43	花の会(総会、定例会)	メンタルヘルスポランティア	
		1	8	事例検討	七尾市					
		1	5	事例検討	羽咋市					
		2	14	事例検討	志賀町					
		1	6	事例検討	中能登町					
		3	4	来所相談(精神相談の利用)	七尾市					
		2	9	来所相談(精神相談の利用)	志賀町					
		2	4	同行訪問	七尾市					
		5	9	同行訪問	羽咋市					
	8	8	同行訪問	志賀町						
	7	21	ピアサポーター派遣	相談支援事業所						
能登北部保健福祉センター		2	53	被害者支援地域ネットワーク・相談ネットワーク連絡会	警察	7	34	精神障害者家族会(輪水会及びむつみ会)の総会、定例会、打ち合わせ等	精神障害者家族会	
						11	41	精神障害当事者の会(ふたば会、内浦クラブ、むつみクラブ)	精神障害当事者の会支援	
		2	41	思春期青年期こころの健康づくりネットワーク会議	医療機関、高等学校職員、市町保健師、相談支援事業所	12	72	断酒会及び酒害相談	断酒会	
		1	24	自殺対策推進地域連絡会議	管内医療機関、警察、労働基準監督署、公共商業安定所、薬剤師会、奥能登広域圏事務組合消防本部、市町自殺担当課及び消費生活相談所	2 2	27 27	障害福祉サービス事業所の総会の参加 メンタルヘルスポランティアの総会の参加、活動支援	障害福祉サービス事業所 メンタルヘルスポランティア	



	7	47	事例検討	保健医療福祉等の関係者				
	16	93	ケア会議					
	6	70	要保護自動対策地域協議会事例検討会					
	13	132	奥能登地域自立支援協議会 市町連絡会、就労部会					
	4	48	輪島市障害者計画等検討委員会参加					
	2	20	能登町精神保健連絡会					
	7	7	市町職員との同行訪問					
	1	19	消防・救急隊員に対する研修(自殺未遂者支援体制整備)、意見交換	消防本部の消防・救急管内救急告示医療機関及び精神科医療機関における看護師、ソーシャルワーカー等				
	1	4	救急告示医療機関職員等に対する研修(自殺未遂者支援体制整備)、意見交換					
泉野福祉健康センター	25	185	ケース会議	病院関係者等	2	49	泉の会家族会 市域連合家族会	精神障害者家族会
	1	20	事例検討会		14	115	「ひだまり」「きずな」	メンタルヘルスボランティアグループ
					8	26		地域活動支援センター等
元町福祉健康センター	7	51	ケース会議	病院関係者、生活支援課、包括支援センター等	1	11	鳴和の里すぎな家族会例会への出席、相談対応	精神障害者家族会
	1	15	事例検討会		1	10	「鳴和の里」	障害福祉サービス事業所
駅西福祉健康センター	8	40	ケース会議		2	20	けやきの森等家族会定例会出席 家族からの相談及び健康管理支援	精神障害者家族会
	1	13	事例検討会		3	11	断酒会、AA例会参加	
					1	2	利用者、指導員の相談及び助言	地域活動支援センター「クリエーションけやき」

## 5 家族教室及びメンタルヘルス講座

### (1) 家族教室

保健所	区分	家族教室			
	内容	回数	実人数	延人数	内容
南加賀保健福祉センター(含む加賀地域センター)	1	27	25	うつ病家族教室	
	1	10	10	アルコール依存症家族教室	
	1	22	22	ひきこもり家族教室	
石川中央保健福祉センター(含む河北地域センター)	1	20	290	うつ病家族教室	
	11	32	47	ひきこもり家族教室 学習会、座談会、個別相談など	
能登中部保健福祉センター(含む羽咋地域センター)	3	12	15	ひきこもり家族教室	
能登北部保健福祉センター(含む珠洲地域センター)	5	8	15	ひきこもり家族教室	
泉野福祉健康センター	50	12	190	ひきこもりサロン 開設:毎週火曜日13:00~16:00 対象:概ね18~40歳未満の本人及びその家族	
元町福祉健康センター	1	19	19	統合失調症に関して学習会・交流会	
駅西福祉健康センター	2	37	37	うつ病に関して学習会・交流会	
		26	26	アルコールに関して学習会・交流会	

## (2)メンタルヘルス講座

保健所	区分 内容	メンタルヘルス講座			
		回数	実人数	延人数	内容
南加賀保健福祉センター(含む加賀地域センター)		0	0	0	実施なし
石川中央保健福祉センター(含む河北地域センター)		1	8	8	職場内ゲートキーパー養成事業
		1	25	25	ほっとハート店推進事業
		1	24	24	ゲートキーパー養成
		2	75	75	健やかファミリーライフ事業にてココロの健康づくりについて
能登中部保健福祉センター(含む羽咋地域センター)		2	33	33	心の健康、うつ病とPTSDについて等
能登北部保健福祉センター(含む珠洲地域センター)		0	0	0	実施なし
泉野福祉健康センター		2	25	48	ボランティア大学校と連携 福祉健康コースの講座(基礎講座)
		1	6	6	実践講座
元町福祉健康センター		2	25	48	ボランティア大学校と連携 福祉健康コースの講座(基礎
		1	6	6	実践講座
駅西福祉健康センター		0	0	0	実施なし

## 6 集団指導活動

保健所	精神障害者社会復帰相談指導事業				
	区分 内容	回数	実人数	延人数	
南加賀保健福祉センター		24	9	120	オアシス会(話し合い、調理実習、スポーツ、レクリエーション等)
加賀地域センター		0	0	0	
石川中央保健福祉センター(含む河北地域センター)		12	10	34	ひきこもり社会参加復帰支援事業「ひきこもり家族教室」学習会、座談会、個別相談など
能登中部保健福祉センター(含む羽咋地域センター)		0	0	0	
能登北部保健福祉センター(含む珠洲地域センター)		31 1 47	20 11 15	357 11 413	ふたば会(輪島市、穴水町対象) みのりクラブ(能登町能都、柳田地区対象) 内浦クラブ(能登町内浦地区対象) 話し合い、料理、スポーツ、学習会、絵画、カラオケ、生花、書道、SST等
泉野福祉健康センター		51	14	217	「ひきこもりの本人・家族のためのサロン」 本人:実12人 家族:実7人 ・居場所の提供 ・居場所の提供参加者同士の交流 ・情報交換、個別相談
元町福祉健康センター		0	0	0	
駅西福祉健康センター		0	0	0	

## 7 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD等一覧

(ビデオテープ(VHS方式)・DVD含む)

(平成26年3月現在)

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
児 童	2101	SOSからの笑顔へ ～いじめ登校拒否から自立を待つ～	60分	小・中 高・一	ビデオ	登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介
	2102 ～ 2106	子育てたまご(1)～(5)	各60	一般	ビデオ	0歳～小学生の子供について、親子・育児・あそび・食事などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ
	2107	よい子のため息S・O・S	30	母親	ビデオ	子どものため息をついてる。(悩んでいる)
	2108	いじめ	30	中高生	ビデオ	先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間はずれが一番つらい。
	2109	あなたの心、元気ですか！	20	一般	ビデオ	高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するかの工夫を考え、学ぶことを目的としたビデオ。
	2110	夢はお母さんと二人っきり	32	母親	ビデオ	幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思うようになる。
	2111	子育てに自信をなくしているあなたへ	15	育児者	ビデオ	育児の悩みの解消策について。
	2112	子ども虐待防止対策ビデオ 「MCGとは何か」	15	母親	ビデオ	MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係を考える会(グループミーティング)のこと
こ こ ろ の 健 康	2201	職場ストレスと健康 第1集 ストレスとは	16	一般	ビデオ	ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの社会的・精神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイナスが生じた状態。
	2202	職場ストレスと健康 第2集 職場ストレス	18	一般	ビデオ	複雑な人間関係や過剰な残業により、神経症やうつ状態に陥る人が増えた。
	2203	職場ストレスと健康 第3集 職場ストレスと健康防衛	19	一般	ビデオ	ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考える。
	2204	小比木敬吾による症例分析	30	一般	ビデオ	慶應義塾大学医学部精神神経科助教授、小比木敬吾氏の講演。(メンタルヘルスを各職場、企業の中で実践する方法について)
	2205	セルフコントロール医学への道	58	一般	ビデオ	東大医学部心療内科長、石川・中氏の講演。(患者自身が、病理について熟知し、自分で自分の心身をセルフコントロール出来るようにする)
	2206	うつの時代	30	一般	ビデオ	日本精神病院協会会長、斉藤茂太氏のうつに関する講演会。
	2208	現代人のメンタルヘルス (心の病気)	29	一般	ビデオ	神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そう病・アルコール依存症などが一般的。
	2209	管理・監督者のための ストレスマネジメント	40	管理者	ビデオ	管理者として部下のストレス対策は、どうあるべきか。
	2210	中・高年期の精神保健	23	一般	ビデオ	65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を持っている。老人の心の病気を説明。
	2211	その場でできるやさしい疲労回復法健康ストレッチング	20	一般	ビデオ	デスクワークの人達のために、ストレッチングを中心として様々な疲労回復方法を教示する。
	2212	災害と心のケア	42	一般	ビデオ	災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対してどのように対処すべきか。
	2213	開く・かける-つなぐ～精神保健ボランティア～いっしょにいこうよ	39	一般	ビデオ	いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共にその大切さを訴える。
	2214	開く・かける-つなぐ～精神保健ボランティアもっとちかくに～	43	一般	ビデオ	作業所等にボランティアが集う。
2215	おかえり	99	一般	ビデオ	新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻の要求を受け入れた夫が一晩の入院で退院させることになる映画。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内容
こ こ ろ の 健 康	2216	小さなほほえみのために ～乳幼児突然死症候群 SIDS から赤ちゃんを守る～	5分	一般	ビデオ	2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間に死ぬ。1歳未満の赤ちゃん。
	2217 1	企業戦士のメンタルヘルス 五月病症候群	20	一般	ビデオ	五月病は学生は受験後、新社会人は社内研修が終わった後等次の環境にうまく順応出来ない人(まじめな人、過保護の人、交際相手の少ない人等)が危ない。
	2217 2	企業戦士のメンタルヘルス 入社拒否症候群	20	一般	ビデオ	ア心身症イ軽症うつ症ウ無気力症エずる休み型に分類され、ア及びイのタイプが断然多い。
	2217 3	企業戦士のメンタルヘルス 燃えつき症候群	20	一般	ビデオ	無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、ゆとりや融通性に欠ける人が危ない。
	2217 4	企業戦士のメンタルヘルス 帰宅恐怖症候群	16	一般	ビデオ	家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が無いため帰れない。クリニックへ駆け込み寺のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が大きい
	2217 5	企業戦士のメンタルヘルス スーパーウーマン症候群	20	一般	ビデオ	スーパーウーマン症候群とは、スーパーウーマンになろうとして起きてくるストレス精神障害 職場の第一人者 妻として充実した家庭 母親としての子育て等を望む。
	2218	根絶！夫からの暴力 あなたは悩んでいませんか？	27	一般	ビデオ	平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行された。
	2219	心だって風邪を引く ～メンタル ヘルス対策を進めよう！～	41	一般	ビデオ	平成12年8月に、労働者から発表された事業場における労働省のこころの健康づくりのために指針について。
	2220	ドメスティクバイオレンス犯罪です	20	一般	ビデオ	日本各地に駆け込みシェルターがある。
	2221	再出発へのサポート ～女のスペース・駆け込みシェルター の現場から～	18	一般	ビデオ	DVから逃れてくる女性達の駆け込みシェルターの現状と問題点を描く。
	2222	米国東海岸の挑戦 前編	23	一般	ビデオ	ボストン・ケンブリッジをはじめとする米国東海岸地域におけるドメスティックの被害者へのサポート。
	2223	米国東海岸の挑戦 後編	21	一般	ビデオ	マサチューセッツ州における、加害者への対象は進んでいる。ある被害者女性へのサポート状況を紹介。
	2224	ひきこもる心と向き合うには	73	一般	ビデオ	ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについて。
	2225	あなたの心元気ですか！	19	高校生	ビデオ	多感な時期にある高校生が心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考える、学ぶために制作された。
	2226	ストーカー対策 女性が身を守るために	30	女性 一般	ビデオ	ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマ再現し、対策を解説。
	2227	なくせ！ストーカー！ 心の闇に潜むもの	40	女性 一般	ビデオ	ドラマを用い、ストーカー犯罪をわかりやすく解説。ストーカー被害に遭わないようにし
	2228	映像版・いいかげんに生きよう	22	一般	ビデオ	摂食障害者の自助グループ NABA 活動編。
	2231	こころの傷に寄り添って	31	一般	ビデオ	災害・被害のトラウマとこころのケア
	2232	広がる子どものうつ病	40	一般	ビデオ	
	2233	自助グループ活動の進め方	30	一般	ビデオ	交通事故被害者遺族の自助グループ支援ビデオ
	2234	自殺対策マニュアル		一般	DVD	地域や職場等の現場で自殺対策に取り組む従事者のために
	2235	統合失調症の人の回復力を高める 回復力を高める接し方	95	一般	DVD	統合失調症の症状、治療、再発予防について基本的な講義
	2236	統合失調症の人の回復力を高める ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	DVD	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ
2237	統合失調症の人の回復力を高める 家族の SST の進め方	45	一般	DVD	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
こ こ ろ の 健 康	2238	こころの病気を学ぶ授業 ～統合失調症～		一般	DVD	2008年普及活動及び授業実施報告
	2239	眠れなくなった父さんヒツジ	30分	一般	DVD	うつ病の人の94%に「睡眠障害」があると報告されています。
	2240	こころのサインに気づいたら 悩んでいる人にあなたができること	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2241	こころのサインに気づいたら 悩んでいる人にあなたができること	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2242	こころのサインに気づいたら～ゲ ートキーパー養成研修用DVD～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2243	こころのサインに気づいたら～ゲ ートキーパー養成研修用DVD～ (被災地対応編)	152	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2244	こころのサインに気づいたら～ゲ ートキーパー養成研修用DVD～ (講義編・資料編)～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2245	スッキリ睡眠でイキイキと		一般	DVD	
	2246	睡眠保健指導 No.1		一般	DVD	
	2247	睡眠保健指導 No.2		一般	DVD	
	2248	こころのサインに気づいたら～ゲ ートキーパー養成研修用DVD～ (地域対応編・心得編)	144	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2249	NHK厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第1巻 うつ病って何だろう	70	一般	DVD	うつ病と付き合っていくために知っておきたい大切な事柄について。
	2250	NHK厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第2巻 うつと生きる	104	一般	DVD	うつとともに生きてきたある会員の17年間の葛藤の軌跡。
	2251	NHK厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第3巻 ふたたび職場へ	82	一般	DVD	神奈川県川崎市にある武田病院のリワークプログラムを紹介。
2255	石川県ゲートキーパーDVD かけがえのない命をまもるために あなたもゲートキーパー	18	一般	DVD	ゲートキーパーの役割について。	
老 人 精 神 保 健	2301	花いちもんめ	127	一般	ビデオ	老人性アルツハイマー型痴呆症の男性に振り回される家族と親族の苦悩を描いた映画。
	2302	ぼけのお年寄り介護	22	一般	ビデオ	高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が真剣に探し求められている。
	2303	痴呆性老人の介護者のために ～心の旅路～	77	一般	ビデオ	在宅老人(一人暮らし)に対する訪問看護の仕方について。
	2304 ～ 2305	痴呆老人の介護(1)(2)	各20	一般	ビデオ	痴呆老人の特徴(症状)とそのかわりについて解説。
	2306	痴呆性老人の在宅介護! ～ぼけの病状に対応するために～	24	一般	ビデオ	ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。
	2307	痴呆性老人の在宅介護! ～ボケのお年寄りの正しい理解 のために～	25	一般	ビデオ	千葉市にある稲毛ホワイエの紹介。(週3日、昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年寄りの世話をする施設)
	2308	痴呆性老人の家庭介護!! ～痴呆の理解とサービス～	32	一般	ビデオ	痴呆とはどのようなものかを教示すると共に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。
	2309	痴呆性老人の家庭介護!! ～家庭介護の実際	28	一般	ビデオ	家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者談を参考にまとめた。
	2310	心がうごけば身体も動く(上)	23	一般	ビデオ	楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。どうしても自分の足で立ってみたい!
	2311	雪見橋は行く	25	一般	ビデオ	岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面での画期的な成果を描いたもの。
2312	熟年の季節	60	一般	ビデオ		

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
老人精神保健	2313	パッチンして！おばあちゃん	90分	一般	ビデオ	
	2314	もし痴呆が起きたらアルツハイマー型老年痴呆の介護編	23	一般	ビデオ	アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方について。
	2415	ひとりぼっちをなくそう	40	一般	ビデオ	精神障害者本人の会の紹介
	2316	おとしよりの介護「第8巻」	37	一般	ビデオ	痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。
	2317	人は薬 痴呆性老人と介護のコツ	25	一般	ビデオ	痴呆性老人に対する介護の仕方について。
	2318	老いを楽しく美しく	25	一般	ビデオ	
精神保健	2401	君は空の青さを知っているか	24	一般	ビデオ	神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。
	2403	150万人の訴え	29	一般	ビデオ	全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差別で苦しんでいる。
	2404	つらい養成巴病院(釧路のロマン)	40	一般	ビデオ	ある医者が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理念とした画期的な病院を開設した。
	2405	ひとりぼっちじゃない ～自立するファウンテンハウス～	35	一般	ビデオ	ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、ニューヨークファウンテンハウスの紹介
	2406	僕たちのみた青い空	24	一般	ビデオ	神奈川県内の患者会「やまゆり会」の活動の様子を描いたもの
	2407	正しい知識は回復への道	14	一般	ビデオ	統合失調症は、正しい知識があれば治る病気である。
	2408	ゆっくり治療し再発を防ごう	14	一般	ビデオ	統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。
	2409	私たちは家族 ～アメリカ家族会発展の秘密～	25	一般	ビデオ	ナミ「NAMI」(日本語で言う全家連)についての発展とその紹介
	2410	支えあうなかで ～精神障害者とその仲間たち～	35	一般	ビデオ	JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。
	2411	精神障害者が受けられる税制上の特典	11	一般	ビデオ	精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課税減免が認められている。
	2412	今ここにいきる ～精神障害者と共に～	30	一般	ビデオ	高知県における精神保健活動の紹介。
	2413	ここにおいでよ ～精神障害者を支える地域作業所	30	一般	ビデオ	地域作業所の紹介
	2414	知っておきたい薬の知識	15	一般	ビデオ	統合の治療薬についてわかりやすく説明。
	2416	サンフランシスコのハーフウェイハウス	20	一般	ビデオ	サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。
	2419	全家連 30年のあゆみ	31	一般	ビデオ	日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。
	2420	あちこたねえ ～精神障害者の地域生活支援～	30	一般	ビデオ	新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味
	2430	僕たちは飛行機に乗った	41	一般	ビデオ	通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。
2431 ～ 2432	精神障害者ケアマネジメント 第1巻 第2巻	38 48	一般	ビデオ	精神障害者マネジメントの進め方について説明。	



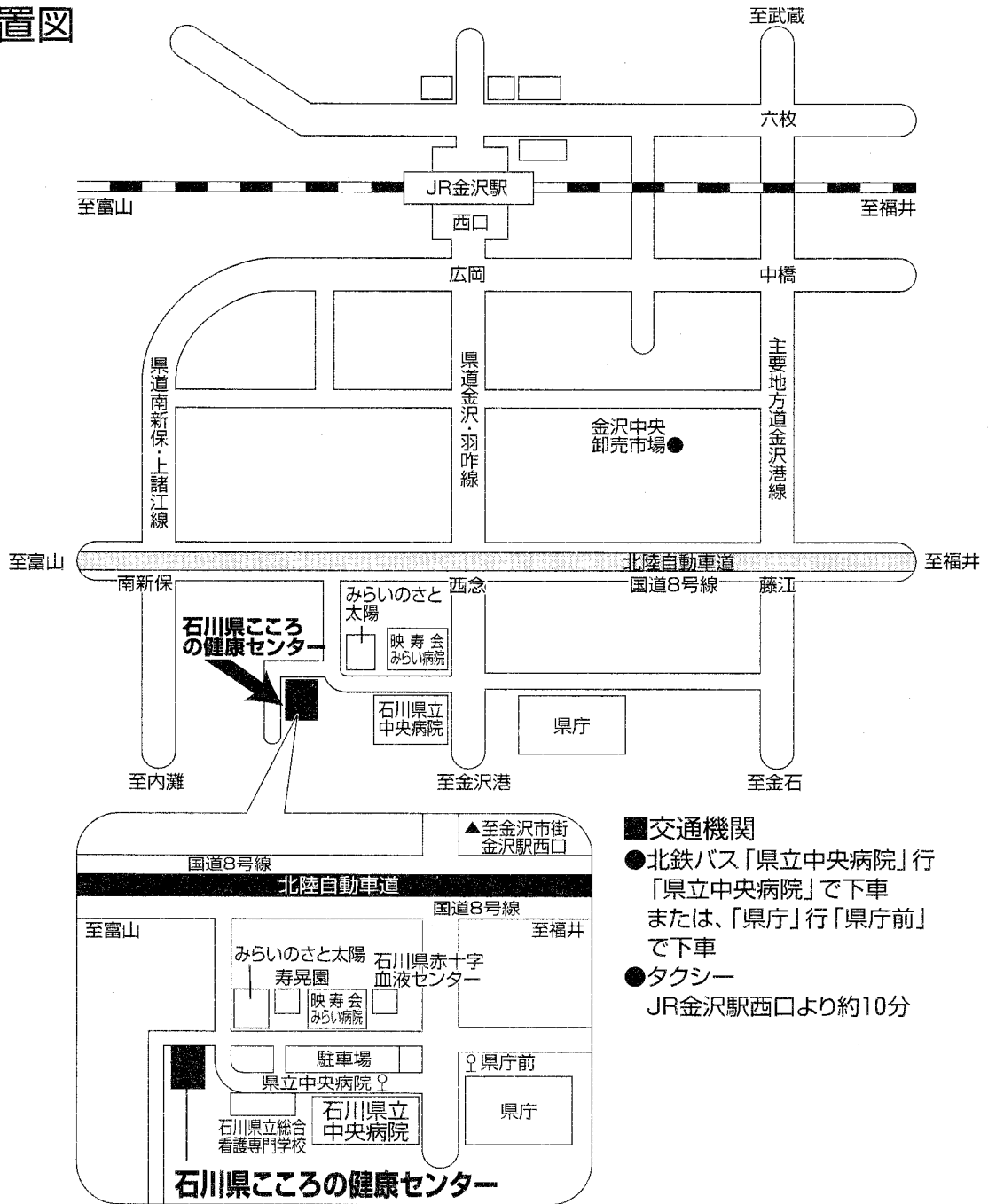
分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容	
精神保健福祉	2433	精神保健福祉ビデオシリーズ 精神障害者をもつ人への援助の実際	23分	一般	ビデオ	病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。	
	2434	精神保健福祉ビデオシリーズ 精神障害者をもつ人のケアマネジメント	21	一般	ビデオ	基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。	
	2435	精神保健福祉ビデオシリーズ の一マラゼーション	27	一般	ビデオ	精神障害者には対するノーマライゼーション社会の現実を目指す。	
	2436 ～ 2437	あせらずにゆとりをもってむりしない 前編 後編	38 30	一般	ビデオ	統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。	
	2438	心理 教育による精神障害者の家族支援	34	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。	
	2439	統合失調症を生きる 妄想編その1 ～ 四六時中のぞかれていた七年間～	32	一般	ビデオ	23歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。(ベテルの家)	
	2440	統合失調症を生きる 妄想編その2 ～ ヒーローたちの戦い～	35	一般	ビデオ	20代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。(ベテルの家)	
	2441	今日の精神科入院医療 ～ 心の病気を克服するために～	26	一般	ビデオ	18歳の大学受験生が統合失調症診断され医療保護入院となるが順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法と解説と一般的な治療法を紹介。	
	2442	精神保健福祉ビデオシリーズ!! 共生の時代へ第4巻ピアカウセリング	23	一般	ビデオ	ピアカウセリングの実際と概要。	
	2443	正しく理解し回復を目指そう	20	一般	ビデオ	2407、2408、2414の改訂版	
	2444	薬の作用と上手な付き合い方	20	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。	
	2445	この街で自分らしく生きる	20	一般	ビデオ	23歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。(ベテルの家)	
	2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	DVD	精神障害者バレーボール全国大会の様相を紹介。	
	2447	ピアカウセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	DVD	ピアカウセリングを共に学ぶ仲間づくり。	
	2448	17歳のカルテ	126	一般	ビデオ	精神科入院の17歳が自分自身を取り戻す。	
	2449	第1回精神障害者就業支援中央セミナー		一般	ビデオ	精神障害者雇用について	
	2450	～ 偏見を乗り越えて～癒しの揺りかご精神科医療		一般	ビデオ	精神科医療について	
	2453 ～ 2456	N(ネガティブ)からP(ポジティブ)へのすすめ ～ 東尋坊からのメッセージ～ (パート1～9)		一般	DVD	人生相談を受けた時に会話した内容。	
	アルコール関連	2501	アルコールの害シリーズ～ 酒害の予防～	26	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している。
		2502	アルコールの害シリーズ ～ 10代の飲酒問題～	28	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している 10代の飲酒問題は極めて深刻な社会問題となっている。
2503		アルコールの害シリーズ ～ アルコール依存者の家族～	14	一般	ビデオ	家族と入院患者が、ファミリーウィークに話し合いをする。(アメリカ)	
2504		アルコールの害シリーズ ～ 女性とストレス～	21	一般	ビデオ	ある薬物、アルコール依存者の女性の事情を描く。	
2505		アルコールの害シリーズ ～ 胎児性アルコール症候群～	10	一般	ビデオ	妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性アルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。	
2506		アルコール依存症とは	28	一般	ビデオ	あるアルコール依存症者の体験をもとに構成された。	
2507		アルコール依存症の心理	20	一般	ビデオ	多くのアルコール依存症を克服した人々のインタビューをもとに構成された。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
アルコール コ ー ル 関 連	2508	アルコール依存症 ～家族の心理～	23分	一般	ビデオ	多くのアルコール依存症を克服した人々のインタビューをもとに構成された。
	2509	アルコール依存症 ～アルコール依存症から回復～	27	一般	ビデオ	アルコール依存症者の体験をもとに構成された。
	2510	アルコール依存症 ～酒なし生活術～	20	一般	ビデオ	神と悪魔が戦っている。その戦場は、人間の心の中である。自分の自覚がいつ持てるか。
	2511	酒とバラの日々	122	一般	ビデオ	ある若い夫婦がアルコールによって、共に墜落の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。
	2512	老化と飲酒	26	一般	ビデオ	老人は、適正飲酒を心がけること。
	2513	アルコールと循環器	20	一般	ビデオ	アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な影響を与える。
	2514	肝臓とアルコール代謝	29	一般	ビデオ	アルコールに対する肝臓の働きを解説したもの。
	2515	あと一杯が飲めるか ～ソーシャルドリンカーへの手引き～	43	一般	ビデオ	日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師さんが、飲酒によって起こる障害を予防するにはどうしたらよいかを精神科医と内科医に教示をうけた。
	2516	酒飲み上手は生き上手	16	青少年	ビデオ	若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒量の単位とは何か。肝臓の処理能力は、1単位の消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は絶対危険。
	2517	お酒と人生 ～飲み方・酔い方・楽しみ方～	17	一般	ビデオ	飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単位では本格的な酔い、体温が上昇、脈がはやくなる・3単位ではめいてい期、気が大きくなっておこりっぽくなる。
	2518	アルコールキッド ～今、お酒にはふれないで～	9	青少年	ビデオ	若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。
	2519	未成年者とアルコール	23	未成年者	ビデオ	未成年者の飲酒とイッキ飲み障害の防止を訴える。
	2520	アルコール依存症 ～依存症の概要～	29	一般	ビデオ	酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。
	2521	アルコール依存症～ケース事例～	35	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2522	アルコール依存症～専門職の活動～	33	一般	ビデオ	アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。
	2523	お年寄りとお酒の付き合い方	28	一般	ビデオ	お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。
	2524	お年寄りとお酒の付き合い方 ～アルコール依存症は病気です～	22	老人	ビデオ	ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。応神のアルコール依存症は年々増えている。
	2525	もうひとつの人生(上)	45	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2526	もうひとつの人生(下)	55	一般	ビデオ	”
	2528 ～ 2531	アルコール依存症への道 (1)～(4)	各20	一般	ビデオ	予防編(女性むけ、一般飲酒むけ) 回復編(家族むけ、依存症本人むけ) に分けて、説明。
	2532	未成年者にアルコールなんかいらぬ	36	未成年者	ビデオ	最近、中、高校生の飲酒が急激に増加している。
	2533	アダルトチャイルド	32	一般	ビデオ	従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人のことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで育った人のことを言う。
	2534	アルコール依存症 ～回復プロセスと再発予防～	40	一般	ビデオ	回復とはすなわち、再発を防止することでもある。
2535	薬物依存 ～孤独そして絶望からの脱出～	29	一般	ビデオ	群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施設「ダルク」についての紹介。	
2536	強迫的ギャンブル回復施設 ワンデーポート	6	一般	ビデオ	ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指す施設「ワンデーポート」の紹介。	
2537	未成年者のアルコール	26	一般	ビデオ	未成年者のアルコールについて	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
アルコール	2538	出所後の道しるべ～薬物を使わない新たな人生に向かって～	62分	一般	DVD	
心理面接技法	2601	自立訓練法の実際	30	一般	ビデオ	心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実際を分かりやすく解説したもの。
	2602	リラクゼーションの実際	19	一般	ビデオ	筋弛緩法(生理的な緊張を解き、心理的な安静を得ようとするもの)
	2603	続リラクゼーションの実際	17	一般	ビデオ	筋弛緩法を実行してうまくいかない人のためのA-B-A方式の解説。
	2604	箱庭療法の基礎理論	19	一般	ビデオ	砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解説。
	2605	絵画療法 (1)	20	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、患者の方から描いたもの。
	2606	絵画療法の理論 (2)	24	一般	ビデオ	その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持ってきてもらう方法がある。
	2607	絵画療法の症例研究 (3)	32	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、医師の方から描いたもの。
	2609	ケースの心をとらえる面接!	23	一般	ビデオ	どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。
	2610	ケースの心をとらえる面接!!	27	一般	ビデオ	就職を目前にした大学生に対するカウンセリングの仕方を教示している。
	2611	ロールシャハテスト	30	一般	ビデオ	インクのしみで出来たカードを被検者に見せ、それぞれのカードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の性格や人格像を見極める。
	2612	心理療法としての箱庭と子供への適応の方法	51	一般	ビデオ	カルフ婦人が、子供が勉強で離れた心を癒すために、箱庭療法を行いに来る。
	2613	フェイス トゥ フェイス 1巻 ～マイクロカウンセリング	24	一般	ビデオ	他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロトレーニングという方法で教示する。
	2614	フェイス トゥ フェイス 2巻 ～積極技法ほか～	26	一般	ビデオ	いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技法。
	2615	フェイス トゥ フェイス 3巻 ～技法の統合ほか～	29	一般	ビデオ	焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の統合。
	2616	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 モジュールの構成	24	一般	ビデオ	アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。
	2617	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 導入とビデオを用いた質疑応答	20	一般	ビデオ	導入・・・技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答・・・ビデオを用いながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。
	2618	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ロールプレイ	46	一般	ビデオ	ロールプレイの適切なやり方を教示。
	2619	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 実地練習ほか	56	一般	ビデオ	日常生活の中で、実際にやること。
	2620	自立生活技能(SILS) モジュール編 服薬自己管理モジュール	63	一般	ビデオ	抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る。薬の副作用を見分ける。
	2621	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 基本会話モジュール	42	一般	ビデオ	コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。
	2622	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 病状自己管理モジュール	51	一般	ビデオ	再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
心 理	2623	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 余暇の過ごし方モジュール	23分	一般	ビデオ	レクリエーションの効果を明確にする。(ジョギング、水泳、バレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど)
	2624	パニックディスオーダー 6人の患者	9	一般	ビデオ	次のようなパニック障害がおきる人がいる。(突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)
	2626	行動療法的家族指導(BFM) ～治療技法の実際編～	53	一般	ビデオ	BFMは精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。
	2627	こころを育むストレスマネジメント技法	40	小・中・ 高・一	ビデオ	ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがうまくなる。ストレスに強くなる。
	2628	学校におけるストレスマネジメント教育	34	一般	ビデオ	学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。
	2629	生きる力を創る ～SSTの倫理と実際～	47	一般	ビデオ	SSTとは認知行動療法。(指導者が学習促進を援助する)
	2631	面接への招待	59	一般	ビデオ	電話によってインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助職者が、応用可能である。
	2632	面接への招待	60	一般	ビデオ	核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。
	2633	ひきこもり完全脱出マニュアル 初級入門編 こうすれば子どもと対話ができる。	60	一般	ビデオ	ひきこもりに対応するには、親と子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。
面 接 技 法	2634	ひきこもり完全脱出マニュアル 第2講 ケーススタディ編 不登校とひきこもり	60	一般	ビデオ	ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。
	2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	DVD	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもちみながら斉藤環氏が解説。
	2636	ひきこもり ひきこもりに対する正しい理解	7	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2637	ひきこもり 支援の実践にあたって	43	一般	DVD	
	2638	ひきこもり 検証・支援現場～民間編～	39	一般	DVD	
	2639	ひきこもり 検証・支援現場～公的機関編～	35	一般	DVD	
	2640	実録・家族療法1巻 「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法2巻 「力動的精神療法」に基づく家族面接	68	一般	DVD	
	2642	実録・家族療法3巻 「システムアプローチ」に基づく	872	一般	DVD	
2643	実録・家族療法 オリエンテーション編		一般	DVD		
2644	認知行動療法 べてる式	95	一般	DVD	ベテルの家の幅広い活動を(認知行動療法)という視点から切り取って紹介。	

# 位置図



こころの健康センター所報 第36号

平成26年12月発行

石川県こころの健康センター  
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地  
電話 (076) 238-5761  
FAX (076) 238-5762

ホームページ

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html> (こころの健康センター)

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/hattatu/top.htm> (発達障害支援センター)